

令和9(2027)年度
学 生 募 集 要 項
〔総 合 型 選 抜〕



弘前大学の総合型選抜への出願登録は、
インターネットにより行ってください。

弘前大学インターネット出願サイト
<https://e-apply.jp/ds/hirosaki-u/>



弘 前 大 学

HIROSAKI UNIVERSITY

目 次

■ 令和9（2027）年度入学者選抜方法等の主な変更点について	1
■ 弘前大学における三つの方針（ポリシー）	7
① 募集人員	9
② 試験日程	10
③ 選抜方法一覧	11
④ 試験時間割等	
1. 総合型選抜Ⅰ	12
2. 総合型選抜Ⅱ	13
⑤ 入学試験の実施方法等	
1. インターネット出願登録及び検定料等払込み期間	14
2. 出願書類受付期間及び提出先	15
3. 出願書類等	16
4. 出願上の注意事項	18
5. 入学検定料等の返還について	18
6. 入学検定料の免除について	18
7. 障害等のある入学志願者の事前相談について	19
8. インターネット出願の流れ	20
9. 受験票の印刷	24
10. 入学試験における感染症対応について	24
⑥ 選抜方法等	
1. 総合型選抜Ⅰ	25
1-1 人文社会科学部	26
1-2 教育学部	28
1-3 理工学部	31
1-4 農学生命科学部	34
2. 総合型選抜Ⅱ	36
2-1 教育学部	37
2-2 医学部 医学科	42
2-3 医学部 保健学科	44
⑦ 合格者の発表	46
⑧ 入学手続	46
⑨ 入学料及び授業料の減免について	47
⑩ 学生寮への入寮について	48
⑪ 合格しなかった場合の取扱い	48
⑫ 入学試験個人成績の開示	48
⑬ 個人情報の取扱いについて	49
⑭ 「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」について	49
⑮ 各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	50
■ 問合せ先一覧	68

令和9（2027）年度入学者選抜方法等の主な変更点について

令和8年7月 弘前大学

1. 総合型選抜の試験日程変更

総合型選抜の試験日程を，次の日程に後ろ倒しして実施します。

区分	出願期間	試験実施日	合格発表日
総合型選抜Ⅰ	9月24日～10月1日	10月31日・11月1日	11月12日
総合型選抜Ⅱ			2月5日

2. 各学部・学科の主な変更点

◆人文社会科学部◆

一般選抜における大学入学共通テストの利用教科・科目について次のとおり一部変更します。

〔令和8年度入試〕

教科	科目名等
地歴	「地理総合，地理探究」， 「歴史総合，日本史探究」， 「歴史総合，世界史探究」， 「地理総合／歴史総合／公共」 から 1
公民	「公共，倫理」，「公共，政治・経済」， 「地理総合／歴史総合／公共（再掲）」 から 1



〔令和9年度入試〕

教科	科目名等
地歴	「地理総合，地理探究」， 「歴史総合，日本史探究」， 「歴史総合，世界史探究」， 「地理総合／歴史総合／公共」 から 2
公民	「公共，倫理」，「公共，政治・経済」， 「地理総合／歴史総合／公共（再掲）」

◆教育学部◆

募集人員について次のとおり一部変更します。

1. 学校教育教員養成課程初等中等教育専攻小学校コースの総合型選抜Ⅱに「地域志向教員枠」を導入します。

「地域志向教員枠」導入に伴い、学校教育教員養成課程初等中等教育専攻中学校コース技術専修（総合型選抜Ⅰ）及び家庭科専修（一般選抜前期日程）の募集を停止します。なお、募集停止後も中学校技術・家庭科の教職課程認定を維持し、現行の技術サブコースと家庭科サブコースを統合して技術・家庭科サブコースを新設します。（変更の詳細は後述）

〔令和８年度入試〕

	総合型選抜Ⅱ
小学校コース	25人



〔令和９年度入試〕

	総合型選抜Ⅱ
小学校コース	地域志向教員枠 5人
	一般枠 20人

	総合型選抜Ⅰ
技術専修	3人



募集停止

	一般選抜前期日程
家庭科専修	3人



募集停止

2. 学校教育教員養成課程初等中等教育専攻中学校コース音楽専修・美術専修における総合型選抜Ⅰについて、専修ごとに募集していたものを、2専修で一括して募集を行うものに変更します。

〔令和８年度入試〕

	総合型選抜Ⅰ
音楽専修	3人
美術専修	3人



〔令和９年度入試〕

	総合型選抜Ⅰ
音楽専修	6人
美術専修	

※音楽専修・美術専修でそれぞれ個別に選抜を実施し、音楽専修3人、美術専修3人を合格者数の目安とします。
なお、志願状況により内訳が増減することがあります。

3. 学校教育教員養成課程特別支援教育専攻における一般選抜後期日程（募集人員2人）及び総合型選抜Ⅰ（同3人）を廃止し、代わって総合型選抜Ⅱ（同5人）を新設します。

〔令和８年度入試〕

	一般選抜前期日程	一般選抜後期日程	総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ
特別支援教育専攻	5人	2人	3人	



〔令和９年度入試〕

	一般選抜前期日程	一般選抜後期日程	総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ
特別支援教育専攻	5人			5人

学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース

教育学部学校教育教員養成課程初等中等教育専攻小学校コースにおいて、令和8年度に実施する令和9年度入学者選抜（総合型選抜Ⅱ）から、募集人員25人のうち、5人を地域志向教員枠とし、次のとおり実施します。

なお、小学校コースの総合型選抜Ⅱ地域志向教員枠以外（以下「一般枠」）の入学試験については、変更しません。

地域志向教員枠で入学した者については、地域の学校教育現場からの要請に応えるため複数免許取得を卒業要件とし、小学校教諭一種免許状に加え、中学校教諭一種若しくは二種免許状（技術）又は中学校教諭一種若しくは二種免許状（家庭）の取得を必須とします。また、入学後は技術・家庭科サブコースに所属します。

●募集人員

地域志向教員枠5人（総合型選抜Ⅱ）

●出願要件

次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者

- (1) 弘前大学教育学部での勉学を強く希望する者
- (2) 本専攻のアドミッション・ポリシーを十分理解し、本専攻への志望動機が明確である者
- (3) 高等学校若しくは中等教育学校を令和3年4月以降に卒業した者及び令和9年3月に卒業見込みの者
- (4) 本学の指定した令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を受験する者
- (5) 青森県採用教員として教職を目指す強い意志がある者
※出身高校、出身地等地域の制限は設けない。
- (6) 地域教育課題の解決に意欲的に取り組もうとする者

●選抜方法等

- ・大学入学共通テストの得点、集団討論、個人面接及び出願書類（志望理由書及び地域志向教員志望理由書）の評価を総合して選抜を行う。
- ・個人面接は、一般枠と同内容の面接に加え、地域志向教員枠独自の面接を行う。
- ・志望理由書は、一般枠と同内容、同基準で評価する。
- ・地域志向教員志望理由書は、地域教育課題についての問題意識、地域での活動履歴等の記述に基づき、地域志向教員としての適性を評価する。

●配点・合否判定基準

- ・地域志向教員枠

大学入学 共通テスト	集団討論	個人面接	出願書類	合計
300	200	300 ^{※1}	100 ^{※2}	900

※1 個人面接300点のうち、100点は地域志向教員枠独自の面接の得点。

※2 出願書類100点のうち、50点は地域志向教員志望理由書の得点。

- ・一般枠

大学入学 共通テスト	集団討論	個人面接	出願書類	合計
300	200	200	50	750

- 「地域志向教員枠」と「一般枠」の取扱い
 - (1) 「地域志向教員枠」受験者のうち合計点の点数順に上位5人を「地域志向教員枠」合格者とする。
 - (2) (1)の結果、「地域志向教員枠」において、不合格になった者を「一般枠」に組み入れる。すなわち、「一般枠」と「地域志向教員枠（のうち不合格者）」を合わせて、上位20人を「一般枠」合格者とする。
 - (3) (2)の合計点は、「地域志向教員枠」独自の出願書類（地域志向教員志望理由書）及び面接の加点を控除し、「一般枠」の配点により計算する。

●入学後

- 「地域志向教員養成プログラム」（新設予定）の履修が必須。
- 技術・家庭科サブコースに所属。
※プログラム及びサブコースの詳細は、本学教育学部ホームページにて公表を予定しています。

●卒業要件

小学校教諭一種免許状に加え、中学校教諭一種若しくは二種免許状（技術）又は中学校教諭一種若しくは二種免許状（家庭）の取得。

●その他

地域志向教員枠で入学し、「地域志向教員養成プログラム」を修了し、卒業（見込）となった者のうち、大学が推薦する者は、青森県公立学校教員採用候補者選考試験（小学校教諭）の第一次試験における一部が免除される見通し。

総合型選抜Ⅰにおける出願書類について次のとおり一部変更します。

学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修）

学校教育教員養成課程初等中等教育専攻中学校コースの音楽専修・美術専修・保健体育専修における総合型選抜Ⅰの出願書類について、あらたに「志望理由書」の提出を求め、面接の参考資料とします。

〔令和8年度入試〕

	出願書類	
	調査書	志望理由書
音楽専修	◎	×
美術専修	◎	×
保健体育専修	◎	×



〔令和9年度入試〕

	出願書類	
	調査書	志望理由書
音楽専修	◎	◎
美術専修	◎	◎
保健体育専修	◎	◎

◆医学部医学科◆

一般選抜における教科・科目に係る個別テスト等の配点について次のとおり一部変更します。

〔令和8年度入試〕

「数学」300点、「外国語（英語）」300点、「面接」300点

計900点満点



〔令和9年度入試〕

「数学」300点、「外国語（英語）」300点、「面接」点数化しない

計600点満点

個人面接について、引き続き実施しますが、点数化はせず段階評価とします。また、面接の評価が低い場合は不合格となる場合があります。

総合型選抜Ⅱにおける選抜方法等について次のとおり一部変更します。

【出願要件のうち一部基準の廃止】

〔令和8年度入試〕

「人物、学力ともに優れ、高等学校等における調査書の全体の学修成績の状況（評定平均値）が4.3以上の者」



〔令和9年度入試〕

上記評定平均値に関する出願要件を廃止します。

【選抜方法の一部変更】

〔令和8年度入試〕

「個人面接」及び「ケーススタディの自学自習」



〔令和9年度入試〕

「個人面接」及び「総合論述」

「総合論述」

●選抜方法

与えられた資料の内容を的確に捉え、課題を見出し、自身の考えの思考過程及び最終的結論に関して論述させる。自身の考えを論理的に構築・表現する力が求められる。

●評価方法

資料の理解・解析・分析を通じて、課題解決に必要な論理的思考力と問題発見能力の他、医学分野における資質を以下の観点に基づき総合的・多角的に評価する。

1. 資料理解力：資料の本質を捉え、的確に解析する能力。
2. 問題発見能力：与えられた情報や状況から課題を見出し、それを適切に定義する能力。
3. 論理的思考力：課題に対する考えを論理的に構成する能力。
4. 分析力：資料や課題の要点を整理し、深く考察する能力。
5. 表現力：明確かつ説得力のある形で自身の考えを示す能力。

【合否判定基準の一部変更】

〔令和8年度入試〕

「青森県内枠」と「北海道・東北枠」の取扱い

- (1) 「青森県内枠」受験者のうち合計点の点数順に上位27人を「青森県内枠」合格者とする。
- (2) (1)の結果,「青森県内枠」において, 不合格となった者を「北海道・東北枠」に組み入れる。すなわち,「北海道・東北枠」と「青森県内枠(のうち不合格者)」を合わせて, 上位15人を「北海道・東北枠」合格者とする。



〔令和9年度入試〕

「青森県内枠」と「北海道・東北枠」の取扱い

- (1) 「青森県内枠」受験者のうち合計点の点数順に上位27人を「青森県内枠」合格者とする。
- (2) 「北海道・東北枠」受験者のうち合計点の点数順に上位15人を「北海道・東北枠」合格者とする。

〔令和8年度入試〕

いずれか1科目でも得点が著しく低い場合, 不合格となることがある。



〔令和9年度入試〕

大学入学共通テストの合計点, 個人面接の得点及び総合論述の得点のうち, いずれかの得点が著しく低い場合, 不合格になることがある。

■ 弘前大学における三つの方針（ポリシー）

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めています。

- － 入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- － 自立した個人として、または多様な人々と協働して、国際社会や地域社会に参画していこうとする行動力
- － 生涯にわたって知的好奇心を持ち続け、知的・人格的に成長していこうとする意欲

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

■解説：入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学の入学者受入れの方針の「学力」「行動力」「意欲」といったキーワードには、入学時に学生が身に付けておくべき力と卒業時に学生が身に付けておくべき力の2つが含まれています。その理由は、大学教育を効果的に実践し、学生を主体的で能動的な知的探究者として社会に送り出していくためには、学生が入学前に身に付けて来た学力の芽を大きく育て、花開かせることが重要だと考えているからです。

学生が入学時に身に付けておくべき力とは、「学力の3要素」です。学力の3要素は、初等中等教育において身に付けるべき学力です。その内容は、①基礎的な知識・技能、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、となっています。

また、卒業時に学生が身に付けるべき力とは、弘前大学の「卒業認定・学位授与の方針」や「教育課程編成・実施の方針」で掲げている「見通す力」「解決していく力」「学び続ける力」です。詳細は本学ホームページの該当部分を読んでみてください。

「学力」「行動力」「意欲」には、弘前大学の教育目的が内包されているため、「学力」「行動力」「意欲」は「学力の3要素」と完全一致しているわけではありません。ただし、教育理念の点で、両者は一致しています。よって、弘前大学の入学者選抜では、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価します。

実際の入試の内容や方法は、学部や学科、あるいは入試形態によって異なります。詳細は各学部の入学者受入れの方針、入学者選抜要項・募集要項を確認してください。

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

弘前大学は、学生の主体的・能動的な知的探究をととして、学生の知性ならびに人間性・社会性を育む教育課程を編成・実施します。

(1) 教養教育：教養教育は学生の探究の第一歩です。

－見通す力

学生に人類の叡智たる諸学問の構造を俯瞰する機会を提供することで、複眼的思考および多元的価値観に立脚した省察を促します。これにより、国際社会や地域社会が抱える複雑な問題の本質を見通す力を養います。

－解決していく力

学生に国際社会や地域社会の実情や問題の複雑さに触れる機会を提供します。これにより、学生が個人およびチームとして問題の解決に挑戦できるよう導いていきます。

(2) 専門教育：専門教育は、学生の探究の集大成です。

－見通す力

学生に専門知識を体系的に教授することで、自然や社会への洞察を深化させます。

－解決していく力

学生に、専門知識を国際社会や地域社会の問題解決に応用したり、高度な学識を活かして学術的問題の解決に取り組んだりする機会を提供します。これに加えて専門家としての見識と職業倫理も、実践をととして培います。

(3) 学士課程教育の再構築：学生の探究の過程こそが新しい学士課程の本質です。

－学び続ける力

卒業後、学生が国際社会や地域社会の一員として充実した生活を送るとともに、より良い社会の実現に貢献していくことができるように、学生の探究の習慣を確立します。

3. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

弘前大学は、変化が激しく、将来予測が困難な時代にあってこそ力を発揮できる主体的・能動的な探究者を育み、高い倫理観をもって知的探究に取り組むための三つの力を身に付けた者に対して学位を授与します。

- － 学際的な教養と高度な専門性を身に付け、学術的観点から自然や社会を見通す力
- － 学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力
- － 常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

*カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの解説は、ホームページでご覧いただけます。

<https://gkm.hirosaki-u.ac.jp/kyoikuinfo/policy.html>

1 募 集 人 員

学 部	学 科 ・ 課 程 等			入学定員	募 集 人 員					
					一般選抜		総合型選抜（※1）		私費 外国人 留学生 入試	
					前期日程	後期日程	I	II		
人文社会 科学部	文 化 創 生 課 程			110	60	15	(※3) 35		若干名	
	社 会 経 営 課 程			155	(※2)〔国語55 数35〕	20	(※4) 45		若干名	
	計			265	150	35	80			
教育学部	学校教育教員養成課程	初等中等教育専攻	小学校コース	80	35	20		地域志向教員枠5 一般枠20	若干名	
			中学校コース	国語専修	44	7			(※5) 6	若干名
		社会専修		7		若干名				
		数学専修		7		若干名				
		理科専修		7		若干名				
		音楽専修				5				若干名
		美術専修								若干名
		保健体育専修								若干名
		英語専修		5		若干名				
		特別支援教育専攻	10	5	5	若干名				
		養護教諭養成課程	20	14	6	若干名				
	計			154	87	20	11	36		
医 学 部	医 学 科	(※11) 85 【予定】	青森県定着枠 8 【予定】				青森県内枠 27 【予定】	若干名		
			一般枠 35 【予定】				北海道・東北枠 15 【予定】			
	保健 学科	看護学専攻	80	50			30	若干名		
		放射線技術科学専攻	40	20			20	若干名		
		検査技術科学専攻	40	20			20	若干名		
		理学療法学専攻	20	12			8	若干名		
		作業療法学専攻	20	10			10	若干名		
		小計	200	112			88			
		心理支援科学科	10	10				若干名		
計			295	165		130				
理工学部	数 物 科 学 科		78	(※6)〔数19 数理19〕	(※6)〔数6 理10〕	24		若干名		
	物 質 創 成 化 学 科		52	26	10	16		若干名		
	地 球 環 境 防 災 学 科		65	30	15	20		若干名		
	電 子 情 報 工 学 科		55	29	9	(※7) 17		若干名		
	機 械 科 学 科		80	36	20	(※8) 24		若干名		
	自然エネルギー学科		30	10	11	9		若干名		
	計			360	169	81		110		
農学生命 科学部	生 物 学 科		40	23	5	12		若干名		
	分 子 生 命 科 学 科		40	20	8	12		若干名		
	食 料 資 源 学 科		55	27	7	21		若干名		
	国 際 園 芸 農 学 科		50	27	8	(※9) 15		若干名		
	地 域 環 境 工 学 科		30	16	5	(※10) 9		若干名		
	計			215	113	33		69		
合 計				1,289	684	169	270	166		

- (※1) 「総合型選抜Ⅰ」は大学入学共通テストを課さないものであり、「総合型選抜Ⅱ」は大学入学共通テストを課すものです。
- (※2) 人文社会科学部「一般選抜（前期日程）」の「国」は教科・科目に係る個別テストにおける国語選択者、「数」は数学選択者の募集人員です。
- (※3) 人文社会科学部文化創生課程「総合型選抜Ⅰ」の募集人員35人には、国際バカロレア枠3人を含みます。
- (※4) 人文社会科学部社会経営課程「総合型選抜Ⅰ」の募集人員45人には、専門高校枠（高等学校等の商業又は情報に関する学科、総合学科（商業又は情報の単位を20単位以上修得した者））8人を含みます。
- (※5) 教育学部音楽専修・美術専修でそれぞれ個別に選抜を実施し、音楽専修3人、美術専修3人を合格者数の目安とします。
なお、志願状況により内訳が増減することがあります。
- (※6) 理工学部「一般選抜」の「数」は教科・科目に係る個別テストにおける数学選択者、「数理」は数学及び理科選択者、「理」は理科選択者の募集人員です。
- (※7) 理工学部電子情報工学科「総合型選抜Ⅰ」の募集人員17人には、専門高校枠（高等学校等（高等専門学校を含む）の工業、商業に関する学科、又は高等学校の総合学科）4人を含みます。
- (※8) 理工学部機械科学科「総合型選抜Ⅰ」の募集人員24人には、専門高校枠（高等学校等（高等専門学校を含む）の工業に関する学科）2人を含みます。
- (※9) 農学生命科学部国際園芸農学科「総合型選抜Ⅰ」の募集人員15人には、専門高校枠（高等学校等（高等専門学校を含む）の農業、林業、水産、工業、商業、情報に関する学科）4人を含みます。
- (※10) 農学生命科学部地域環境工学科「総合型選抜Ⅰ」の募集人員9人には、専門高校枠（高等学校等（高等専門学校を含む）の農業、工業に関する学科）3人を含みます。
- (※11) 医学部医学科の募集人員は予定であり、変更する場合があります。

(注) 総合型選抜の合格者が募集人員に満たない場合の欠員は、「一般選抜（前期日程）」の募集人員に加えます。

2 試 験 日 程

実施学部等		日程	インターネット出願登録 及び入学検定料払込期間	出願書類 受付期間	試験実施日	合格者発表日	入学手続期限
総合型選抜Ⅰ	人 文 社 会 学 部 (文化創生課程)	9 月 21 日 (月) ～ 10 月 1 日 (木)	9 月 24 日 (木) ～ 10 月 1 日 (木)	10 月 31 日 (土)	11 月 12 日 (木)		2 月 17 日 (水) まで
	人 文 社 会 学 部 (社会経営課程)			11 月 1 日 (日)			
	教 育 学 部 (音楽専修, 美術専修)			10 月 31 日 (土)			
	教 育 学 部 (保健体育専修)			10 月 31 日 (土) 及び 11 月 1 日 (日)			
	理 工 学 部			10 月 31 日 (土)			
	農 学 生 命 学 部			11 月 1 日 (日)			
総合型選抜Ⅱ	教 育 学 部 (小学校コース, 特別支援教育専攻, 養護教諭養成課程)			10 月 31 日 (土) 及び 11 月 1 日 (日)	2 月 5 日 (金)		
	医 学 部 医 学 科						
	医 学 部 保 健 学 科						

3 選抜方法一覧

総合型選抜Ⅰは、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除して、下記の選抜方法により選抜を行います。

総合型選抜Ⅱは、大学入学共通テストを課し、教科・科目に係る個別テストは免除して、下記の選抜方法により選抜を行います。

学 部	学科・課程等			総合型選抜Ⅰ					総合型選抜Ⅱ															
				小 論 文	レ 講 義 I 及 ト び	面 接 (※3)	集 団 討 論	実 技 (※3)	出願書類			小 論 文	面 接 (※4)	集 団 討 論	総 合 論 述	出願書類								
									調 査 書 (※1)	学 習 計 画 書 (※2)	志 望 理 由 書 又 は 調 査 書					調 査 書 (※1)	志 望 理 由 書 (※2)							
人文社会 科学部	文 化 創 生 課 程			●	×	●	×	×	●	●														
	社 会 経 営 課 程			●	×	●	×	×	●	●														
教育学部	学校教育教員養成課程	初等中等教育専攻	小学校コース								×	●	●	×	◎	●								
			中学校コース								国 語 専 修													
											社 会 専 修													
											数 学 専 修													
											理 科 専 修													
											音 楽 専 修							×	×	●	×	●	◎	◎
											美 術 専 修							×	×	●	×	●	◎	◎
											保健体育専修							×	×	●	×	●	◎	◎
		英 語 専 修																						
	特別支援教育専攻																							
養護教諭養成課程										×	●	●	×	◎	●									
										×	●	●	×	◎	●									
医 学 部	保健学科	医 学 科								×	●	×	●	◎	◎									
		看 護 学 専 攻								●	●	×	×	●	●									
		放射線技術科学専攻								●	●	×	×	●	●									
		検査技術科学専攻								●	●	×	×	●	●									
		理学療法学専攻								●	●	×	×	●	●									
		作業療法学専攻								●	●	×	×	●	●									
	心 理 支 援 科 学 科																							
理工学部	数 物 科 学 科		×	●	●	×	×	◎	◎															
	物 質 創 成 化 学 科		×	●	●	×	×	◎	◎															
	地 球 環 境 防 災 学 科		×	●	●	×	×	◎	◎															
	電 子 情 報 工 学 科		×	●	●	×	×	◎	◎															
	機 械 科 学 科		×	●	●	×	×	◎	◎															
	自然エネルギー学科		×	●	●	×	×	◎	◎															
農学生命 科学部	生 物 学 科		●	×	●	×	×	◎	◎															
	分 子 生 命 科 学 科		●	×	●	×	×	◎	◎															
	食 料 資 源 学 科		●	×	●	×	×	◎	◎															
	国 際 園 芸 農 学 科		●	×	●	×	×	◎	◎															
	地 域 環 境 工 学 科		●	×	●	×	×	◎	◎															

(※1) ●を付した学部等では、「調査書」を評価し、面接の参考資料とします。

◎を付した学部等では、「調査書」を面接の参考資料とします。

(※2) 人文社会科学部では、「学習計画書」を評価し、面接の参考資料とします。

教育学部（小学校コース（地域志向教員枠））では、「志望理由書」及び「地域志向教員志望理由書」を評価し、面接の参考資料とします。

●を付した学部等（人文社会科学部及び教育学部（小学校コース（地域志向教員枠））以外）では、「志望理由書」を評価し、面接の参考資料とします。

◎を付した学部等では、「志望理由書」を面接の参考資料とします。

(※3) 教育学部（保健体育専修）では、「運動歴調査書」を評価して実技の得点に含めるとともに、面接の参考資料とします。

(※4) 教育学部（小学校コース（地域志向教員枠））では、一般枠と同内容の面接に加え、地域志向教員枠独自の内容の面接を行います。

4 試験時間割等

1. 総合型選抜Ⅰ

人文社会科学部

学科・課程等	試験実施日	試験科目	時 間	試 験 場
文化創生課程	10月31日（土）	小論文	9：00～10：30	弘前大学 総合教育棟
		個人面接	11：30～17：00（※）	
社会経営課程	11月1日（日）	小論文	9：00～10：30	
		個人面接	11：30～17：00（※）	

教育学部

学科・課程等	試験実施日	試験科目	時 間	試 験 場
学校 教育 教員 養成 課程 初等 中等 教育 専攻 中 学 校 コ ー ス	10月31日（土）	実技	9：00～12：00（※）	弘前大学 教育学部
		個人面接	13：00～17：00（※）	
	10月31日（土）	実技	9：00～11：00（※）	
		個人面接	12：00～17：00（※）	
	10月31日（土）	個人面接	9：00～17：00（※）	
	11月1日（日）	実技	9：00～17：00（※）	

理工学部

学科・課程等	試験実施日	試験科目	時 間	試 験 場
数物科学科 物質創成化学科 地球環境防災学科 電子情報工学科 機械科学科 自然エネルギー学科	10月31日（土）	講義の実施と その内容に関する レポート	9：00～11：00（※）	弘前大学 理工学部
		個人面接	12：00～17：00（※）	

農学生命科学部

学科・課程等	試験実施日	試験科目	時 間	試 験 場
生物学科 分子生命科学科 食料資源学科 国際園芸農学科 地域環境工学科	11月1日（日）	小論文	9：00～10：30	弘前大学 総合教育棟
		個人面接	12：00～17：00（※）	

（※）試験終了時間については、受験者数等によって変更することがあります。

2. 総合型選抜Ⅱ

教育学部

学科・課程等			試験実施日	試験科目	時 間	試 験 場
学校教育教員養成課程	教 初 育 等 専 中 攻 等	小学校 コース	10月31日（土）	集団討論	9：00～17：00（※）	弘前大学 教育学部
			11月 1 日（日）	個人面接	9：00～17：00（※）	
	特別支援教育専攻		10月31日（土）	集団討論	9：00～17：00（※）	
			11月 1 日（日）	個人面接	9：00～17：00（※）	
	養護教諭養成課程		10月31日（土）	集団討論	9：00～17：00（※）	
			11月 1 日（日）	個人面接	9：00～17：00（※）	

医学部

学科・課程等		試験実施日	試験科目	時 間	試 験 場
医学科		10月31日（土）	総合論述	13：00～15：00（※）	弘前大学 医学部医学科
		11月1日（日）	個人面接	9：00～17：00（※）	
保健学科		10月31日（土）	個人面接	9：00～17：00（※）	弘前大学 医学部保健学科
		11月1日（日）	小論文	9：00～10：00	

（※）試験終了時間については、受験者数等によって変更することがあります。

5 入学試験の実施方法等

総合型選抜Ⅰは、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除して選抜を行います。本学が実施する小論文試験等を全て受験していない場合には、合格者とはなりません。

総合型選抜Ⅱは、大学入学共通テストを課し、教科・科目に係る個別テストは免除して選抜を行います。本学が指定した大学入学共通テストの教科・科目を受験していない場合（英語のリスニングを受験しない場合も含む。ただし、リスニングを免除された者は除く。）及び本学が実施する小論文試験等を全て受験していない場合は、合格者とはなりません。

いずれの選抜においても、成績が著しく低い場合は、募集人員にかかわらず不合格となることがあります。なお、合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

【国際バカロレア枠について】

人文社会科学部の「国際バカロレア枠」は、要件を満たしたうえで出願時に希望した者のみを対象とします。なお、「国際バカロレア枠」の要件は26ページで確認してください。

【専門高校枠について】

人文社会科学部、理工学部及び農学生命科学部の「専門高校枠」は、要件を満たしたうえで出願時に希望した者のみを対象とします。なお、「専門高校枠」の要件は26ページ以降で確認してください。

総合型選抜はインターネットを利用した出願となります。

弘前大学インターネット出願サイトから登録を行い、入学検定料を払い込んだうえで、出願に必要な書類を出願期間内に本学に届くよう送付する必要があります。

1. インターネット出願登録及び検定料等払込み期間

令和8年9月21日（月）～10月1日（木）午後4時30分

※インターネット出願の流れ（登録方法等）は20ページ～に記載しています。

※検定料免除を申請する場合は、出願時に入学検定料を払い込まないでください。検定料免除については18ページを参照してください。

※インターネット出願登録、検定料の払込みだけでは出願手続は完了しませんので、ご注意ください。

※ご自宅にインターネットや印刷の環境がない場合は、学校に相談してパソコン等を利用したり、公共図書館のインターネットサービスを利用する等により対応してください。

※インターネット出願の環境設定等について

パソコン等は下記の環境を推奨します。

〈ブラウザ〉

- Microsoft Edge 最新版
- Google Chrome 最新版

- Mozilla Firefox 最新版
- Apple Safari 最新版

プリンター

写真データ等を印刷する必要がありますので、カラープリンターでの印刷を推奨します。

メールアドレス設定

- パソコンでも使用できるメールアドレスを推奨しています。
- 下記のドメインからのメールを受信できるようにしてください。
@e-apply.jp
- 出願時に登録したアドレスには、登録時のテスト、入力完了、検定料払込み完了の際に自動送信メールが送信されます。また、出願に関するお知らせのメールを送付することがあります。

2. 出願書類受付期間及び提出先

令和8年9月24日（木）～10月1日（木）午後5時（郵便必着）

原則として書留・速達郵便による郵送とします。郵送では間に合わないなど、やむを得ない事情がある場合には、出願期間中の平日午前9時から午後5時までに持参してください。

出願書類受付期間後に到着したものは受理しません。郵便事情等を十分考慮のうえ、余裕をもって発送してください。ただし、9月29日（火）以前の発信局の消印がある書留・速達郵便に限り受付します。

志 願 学 部 等	提 出 先
人文社会科学部 教育学部 理工学部 農学生命科学部	〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 弘前大学学務部入試課 電 話 0172-39-3122
医学部医学科	〒036-8562 青森県弘前市在府町5番地 弘前大学医学研究科総務課学務グループ 電 話 0172-39-5236
医学部保健学科	〒036-8564 青森県弘前市本町66番地1号 弘前大学保健学研究科学務グループ 電 話 0172-39-5911

3. 出願書類等

出願に必要な書類等は、下記のとおりです。

事前に、写真データ、調査書、志望理由書及び封筒等を準備してください。

総合型選抜Ⅱの志願者は、大学入学共通テスト出願サイトのマイページより「令和9年度共通テスト成績請求チケット」を取得し、印刷のうえ、提出してください（12月中旬）。

出願書類等	内 容 等
A. 全志願者共通（総合型選抜Ⅰ，Ⅱ）	
1. 志願票等	1-1 志願票 弘前大学インターネット出願サイトから必要事項を入力し、検定料払込み完了後にA4サイズで印刷してください。 1-2 写真データ 弘前大学インターネット出願サイトで登録する際に、写真データをアップロードしてください。 写真データは、カラー（2MBまで）、出願3ヶ月以内に撮影、上半身、脱帽、正面向きのものとします。本人確認に使用するため鮮明なものを使用してください。 なお、顔写真の加工・修正は認めません。加工・修正があった場合は、不正行為として扱うことがあります。
2. 調査書	出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 （注）調査書について 1. 既卒者は改正前の旧様式でも可とします。 2. 印刷形式は、A4サイズの様式2枚をA3用紙1枚に印刷したものでも可とします。 3. 2学期制の高等学校等は、出願の時点で発行できる最新の成績が記載されたものを提出してください。ただし、出願の時点で第3学年の成績を記載できない場合（最新の成績が第2学年後期となる場合）は、その旨を高等学校等において備考欄に記載された調査書を提出し、10月16日（金）（正午必着）までに第3学年前期の成績が記載された調査書を、出願書類を提出した宛先まで郵送してください。
3. 入学検定料	弘前大学インターネット出願サイト登録後に表示される支払い手続き画面に従って、入学検定料を払い込んでください。 ■入学検定料：17,000 円 （注）振込手数料は志願者負担となります。
4. 封筒 （出願書類提出用）	角形2号（240mm×332mm）の封筒を各自用意してください。弘前大学インターネット出願サイトから印刷した「宛名シート」を貼付し、必要書類を封入して郵送してください。
B. 人文社会科学部 志願者	
1. 学習計画書	弘前大学インターネット出願サイトトップページから様式(PDF版)をダウンロードし、A4サイズで両面印刷（1枚）のうえ、志願者本人の自書により記載したものを提出してください。（制限字数1,200字）
2-1. 資格証書等 （文化創生課程の 国際バカロレア 枠で出願する者 のみ）	次の資格証書のコピー又は証明書を提出してください。 【国際バカロレア資格取得者】 国際バカロレア資格証書のコピー 【国際バカロレア資格取得見込み者】 出身学校長（又は進路指導担当者）が作成した国際バカロレア資格の取得見込み証明書（任意様式。国際バカロレアプログラムを選択していることがわかるもの）
2-2. 検定試験関係 書類 （社会経営課程の 専門高校枠で出 願する者のみ）	次のいずれかの検定試験の等級を証明する書類のコピーを提出してください。 ・日本商工会議所主催簿記検定試験2級 ・公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験1級 ・独立行政法人情報処理推進機構主催基本情報技術者試験 ・公益財団法人全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験1級

C. 教育学部（保健体育専修を除く）志願者	
1. 志望理由書	弘前大学インターネット出願サイトトップページから様式（Microsoft Word版又はPDF 版）をダウンロードし、指定された枠内に志望理由と活動実績を自由な形式で記載したものを提出してください。（制限字数なし） ※パソコン等で直接入力したものでも、自書により記載したものでも構いません。 ※A 4サイズ（片面）1 枚で提出してください。 ※写真や紙等を貼り付けて作成する場合は、貼り付けた様式をコピーしたものを原本として提出してください。
2. 地域志向教員志望理由書 (小学校コースの地域志向教員枠で出願する者のみ)	
D. 教育学部（保健体育専修）志願者	
1. 志望理由書	弘前大学インターネット出願サイトトップページから様式（Microsoft Word版又はPDF 版）をダウンロードし、指定された枠内に志望理由と活動実績を自由な形式で記載したものを提出してください。（制限字数なし） ※パソコン等で直接入力したものでも、自書により記載したものでも構いません。 ※A 4サイズ（片面）1 枚で提出してください。 ※写真や紙等を貼り付けて作成する場合は、貼り付けた様式をコピーしたものを原本として提出してください。
2. 運動歴調査書	出身学校長が作成し、提出してください。 弘前大学インターネット出願サイトトップページから様式（Microsoft Word版）をダウンロードし、記入要領に従い直接入力したものをA 4サイズで提出してください。
3. 実技選択票	弘前大学インターネット出願サイトトップページから様式（PDF 版）をダウンロードし、A 4サイズで印刷のうえ、志願者本人の自書により記載したものを提出してください。
E. 医学部医学科，医学部保健学科，理工学部，農学生命科学部 志願者	
志望理由書	弘前大学インターネット出願サイトトップページから様式（Microsoft Excel版）をダウンロードし、直接入力したものをA 4サイズで印刷のうえ、提出してください。（自書不可）（制限字数 医学部医学科：800～1,000字以内 医学部保健学科，理工学部，農学生命科学部：600字）
F. 医学部医学科 志願者のみ	
確約書	弘前大学インターネット出願サイトトップページから様式（PDF 版・右上隅に「令和9・総合型Ⅱ」と記載があるもの）をダウンロードし、A 4サイズで印刷のうえ、志願者及び連帯保証人（身元引受人）本人が該当欄に自署したものを提出してください。
G. 総合型選抜Ⅱ 受験者	
令和9年度共通テスト成績請求チケット	本学の入学試験実施後に、大学入学共通テスト出願サイトのマイページより「令和9年度共通テスト成績請求チケット国公立総合型選抜用」を取得し、印刷のうえ、簡易書留で郵送してください。 送付期限：令和8年12月22日（火） 送付先：出願書類等の提出先と同様（15ページ参照） ※貼付台紙は受験票とともにダウンロードできます。 ※封筒表面に「共通テスト成績請求チケット在中」と記入し、封筒裏面に本学の受験番号、住所及び氏名を記入してください。

注）証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出してください。

注）出願書類の様式は、弘前大学インターネット出願サイト募集要項・各種様式ページからダウンロードしてください。
なお、出願される際はご自身が出願する年度の様式であることを必ず確認してから使用してください。

4. 出願上の注意事項

- (1) 弘前大学インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。入学検定料を期限までに払い込み、出願に必要な書類を提出期間内に本学に届くよう送付する必要があります。
- (2) 出願書類の不足や、記載事項の記入漏れ等、不備のあるものは受理しません。
- (3) インターネット出願手続完了後の入試区分・学部・学科等の変更は認めません。
- (4) 提出後の出願書類の内容変更等は認めません。ただし、住所等の連絡先が変更となった場合は、速やかに連絡してください。
- (5) 提出受理後の出願書類は、いかなる理由があっても返却いたしません。
- (6) 提出した出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

5. 入学検定料等の返還について

払込み済みの入学検定料は、次の場合を除き返還しません。

- ①入学検定料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合
- ②入学検定料を払い込んだが出願書類が受理されなかった場合
- ③誤って入学検定料を二重に払い込んだ場合

上記のいずれかに該当する場合は、払込み名義人本人からの申し出（本学の定める様式による）に基づき、口座振込みにより返還します。必要書類や請求方法等の詳細については、弘前大学入試情報ホームページでご確認ください。

6. 入学検定料の免除について

弘前大学では、自然災害による被災者の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、令和8年度に実施する入学者選抜試験について、以下のとおり入学検定料を免除する措置を講じます。

(免除対象となる入学者選抜試験)

令和8年度に実施する学部入試（編入学入試を除く）及び大学院入試（科目等履修生、研究生及び聴講生は対象外）

(対象者)

免除対象となる入学者選抜試験の志願者で、東日本大震災（平成23年3月11日発生）及び令和8年度に災害救助法が適用された地域で被災し、次のいずれかに該当する方

- (1) 学資負担者が居住していた家屋（自己所有のものに限る）が、全壊、大規模半壊、半壊、流失と認定された方

東日本大震災においては、岩手県、宮城県及び福島県の全市町村並びに青森県、茨城県、栃木県及び千葉県の災害救助法適用市町村に居住しており、居住していた家屋が上記の被害認定を受けた方

- (2) 学資負担者が災害により死亡または行方不明となった方
- (3) 居住地が福島第一原子力発電所の事故により、帰還困難区域、居住制限区域または避難指示解除準備区域に指定された方

注) 令和8年度災害救助法の適用を受けない地域であっても、罹災証明書等の提出により対象となる場合がありますので、学務部入試課へお問い合わせください。

(申請の方法)

事前に学務部入試課へ電話等で問い合わせのうえ、所定の申請書に証明書類を添えて、出願書類とともに提出してください。この場合は、出願時に入学検定料を払い込まないでください。

詳細については、弘前大学入試情報ホームページでご確認ください。

7. 障害等のある入学志願者の事前相談について

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上特別の配慮や措置を必要とする方は、令和8年8月21日（金）までに、あらかじめ本学に申し出たうえで「弘前大学入学者選抜試験に係る事前相談申請書」（所定様式）を提出してください。

なお、相談内容によっては、対応に時間を要することがあり、本学の試験までに対応できず特別な配慮や措置が講じられないこともありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

○連絡先

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地

弘前大学学務部入試課

電 話 0172-39-3122

○様式ダウンロード先

障害等のある入学志願者の事前相談 (<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/faculty/disabilities/>)

8. インターネット出願の流れ

出願完了までと受験票印刷までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
出願書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※出願書類…調査書、顔写真データなど
※出願方法の詳細は、「募集要項(14ページ～)」参照



STEP

2

出願サイトにアクセス

弘前大学
インターネット
出願サイト

▶ <https://e-apply.jp/ds/hirosaki-u/>

または、
大学ホームページ
からアクセス

▶ <https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>



STEP

3

マイページの登録

マイページの登録は、令和8年9月21日(月)から可能です。

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。
変更後のパスワードは必ず控えてくだ
さい。
出願情報を確認する場合と出願書類を
出力する際に必要になります。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

4



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



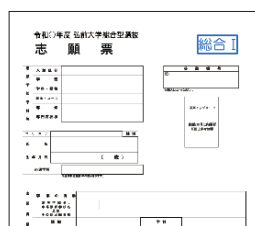
⑥出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンス
ストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ, セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン, ミニストップ, ファミリーマート, ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願
内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

5

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ移行しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi

LAWSON



マルチコピー機

あなとも、コンビニに、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

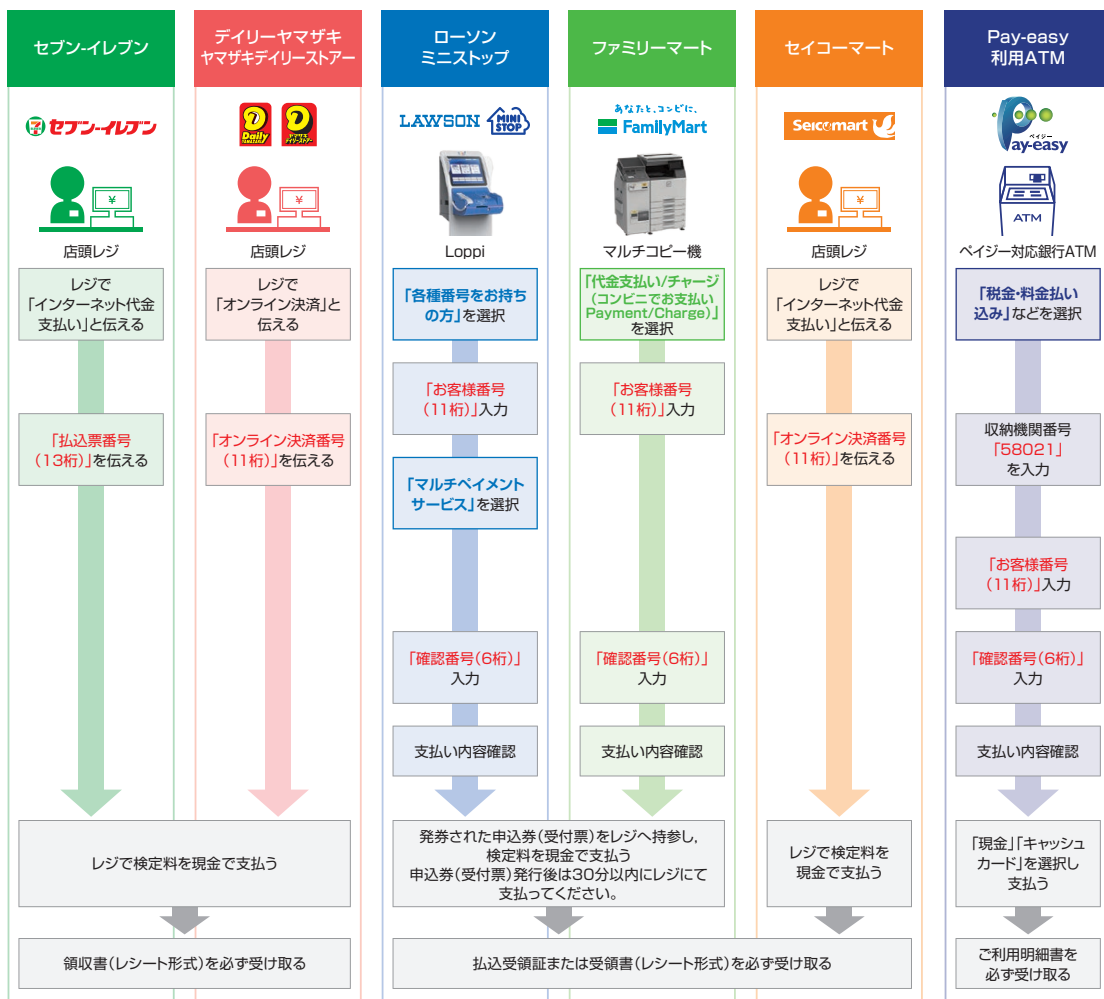
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



検定料の他に手数料がかかります。お申し込み時にご確認ください。

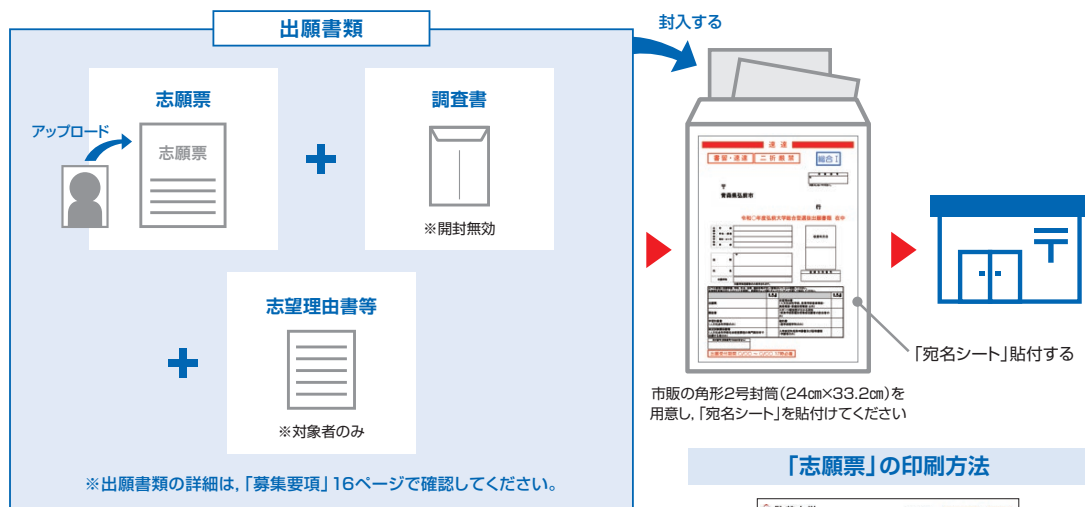
STEP

6

出願書類の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、入学検定料の支払完了後に、弘前大学インターネット出願サイトから「志願票」と「宛名シート」を印刷し、その他の必要書類と併せて郵便局窓口から「書留・速達郵便」で郵送してください。

出願書類
受付期間

令和8年9月24日(木) ~ 10月1日(木)
最終日 17:00(郵送必着)
(インターネット出願登録期間)
令和8年9月21日(月) 00:00 ~ 10月1日(木) 16:30

送付先

志願学部によって異なりますが、宛名シートには出願
学部に応じた送付先が印字されます。

※出願受理した入学検定料・出願書類は一切返却しません。

「志願票」の印刷方法



- (1) マイページに表示された「志願票(印刷)」のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると「志願票(印刷)」のボタンがクリックできるようになり「志願票」、「宛名シート」の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願は弘前大学インターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、出願書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の受付期間内に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能ですが、出願書類の提出期限に間に合うよう、ゆとりを持った出願を心がけてください。

出願書類の
状況について

出願書類到着確認の問い合わせに応じることはできません。
到着を確認したい場合は、日本郵便ホームページの「郵便追跡サービス」をご利用ください。
書留のお問い合わせ番号が必要となりますので、控を大切に保管しておいてください。
出願書類が受理された場合は、マイページ右上のステータスが「出願書類到着」になります。
なお、ステータスの反映には、出願書類到着後、数日かかる場合があります。



STEP

7

受験票の印刷

- 「受験票」および「受験上の注意」は、弘前大学インターネット出願サイトからマイページにログインし、各自A4用紙に印刷してください。※郵送はいたしません。
- 印刷は、10月20日(火)(予定)から可能になります。
- 「受験上の注意」は、熟読してください。

※試験当日は、印刷した「受験票」を忘れずに持参してください。



ご家庭にインターネット利用や印刷の環境がない場合は、学校に相談してパソコン等を利用したり、公共図書館のインターネットサービスを利用する等の対応により、出願してください。

9. 受験票の印刷

受験票は、10月20日（火）（予定）から弘前大学インターネット出願サイトより印刷できるようになります。弘前大学インターネット出願サイトにログインして印刷し、試験当日に持参してください。

また、試験当日の注意事項等を記した「受験上の注意」も同時に印刷して、内容を熟読してください。

なお、受験票は本学からは発送しませんので、必ず各自で印刷してください。

〔受験票に関する注意事項〕

1. 受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。出願登録した内容と異なっている場合は、入試課へ10月23日（金）までに連絡してください。
2. 10月23日（金）になっても、受験票が印刷できない場合は、至急入試課へ連絡してください。
3. インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。試験当日は、受付番号での受験はできませんので、必ず受験票を持参してください。
4. 試験当日に、スマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めません。必ず印刷した受験票を持参してください。

10. 入学試験における感染症対応について

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水痘、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の場合は、受験できません。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。

上記の理由により受験できなかった場合、追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。日頃から、手洗いなどの手指衛生、換気等により各自感染防止に努め、体調管理には十分注意してください。

6 選 抜 方 法 等

1. 総合型選抜Ⅰ

【大学入学共通テストの受験について】

総合型選抜Ⅰでは、大学入学共通テストは課していませんが、大学入学までの勉学意欲の継続という趣旨に鑑み、合格者は大学入学共通テストを必ず受験してください。人文社会科学部「国際バカロレア枠」で出願し、合格した者はこの限りではありません。

なお、大学入学共通テストの成績が合否に影響することはありません。

■大学入学共通テストの出題教科・科目

国 語	「国語」	1	
地 歴	「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」，		5
	「歴史総合，世界史探究」，「地理総合／歴史総合／公共」	1 又は 2	
公 民	「公共，倫理」，「公共，政治・経済」，		
	「地理総合／歴史総合／公共（再掲）」	1 又は 2	
数学①	「数学Ⅰ」，「数学Ⅰ，数学A」	1 又は 2	
数学②	「数学Ⅱ，数学B，数学C」	1 又は 2	
理 科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，		5
	「物理」，「化学」，「生物」，「地学」	1 又は 2	
外国語	「英語（リスニング含む）」	1	
情 報	「情報Ⅰ」	1	

【6教科8科目又は7教科8科目】

注1) 大学入学共通テストを受験するためには、事前の出願手続が必要です。また、**入学後に大学入学共通テストの成績を提出していただきますので、必ず出願時に成績の閲覧を希望してください。**提出方法の詳細については、入学手続後にお知らせします。

注2) 大学入学共通テストの検定料及び成績閲覧手数料は本人負担となります。

注3) 「地理総合／歴史総合／公共」を選択する場合は、3つの出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」及び「公共」）のうち、2つを選択解答してください。

注4) 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」を選択する場合は、4つの出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、2つを選択解答してください。

注5) 「英語」については、リスニングも受験してください。ただし、リスニングを免除された者は除きます。

1 - 1 人文社会科学部（総合型選抜Ⅰ）	
出 願 要 件	次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を令和3年4月以降に卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 2. 本学部のアドミッション・ポリシーを十分理解し、人物が優れ、志願する課程の教育・研究内容に強い興味があり、自発的学習意欲と問題解決のための思考力及び資質を有し、かつ十分な基礎学力を有する者 【国際バカロレア枠について】 文化創生課程の募集人員35人には、国際バカロレア枠3人を含みます。 前述の要件に加え、以下の要件を満たし、出願時に希望した者を国際バカロレア枠出願者として扱います。 ・国際バカロレア資格を有する者又は国際バカロレア資格を令和9年3月までに取得見込みの者 【専門高校枠について】 社会経営課程の募集人員45人には、専門高校枠8人を含みます。 前述の要件に加え、以下の要件を満たし、出願時に希望した者を専門高校枠出願者として扱います。 ・高等学校等において次のいずれかの学科に該当すること。 ○商業又は情報に関する学科 ○総合学科（商業又は情報の単位を20単位以上修得した者） ・次の検定試験のいずれかに合格していること。 ○日本商工会議所主催簿記検定試験2級 ○公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験1級 ○独立行政法人情報処理推進機構主催基本情報技術者試験 ○公益財団法人全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験1級 ※国際バカロレア枠、専門高校枠を希望する場合は、弘前大学インターネット出願サイトから出願内容を登録する際に「国際バカロレア枠を希望する」又は「専門高校枠を希望する」を選択する必要があります。選択しない場合は、上記に該当していても国際バカロレア枠、専門高校枠出願者として扱いません。
選 抜 方 法	小論文、個人面接（プレゼンテーション含む）及び出願書類（調査書・学習計画書）の採点結果を総合して行います。 1. 小論文 一つのテーマについて論述させる。（制限字数800字） 2. 個人面接 受験者は自己PR、志望理由と入学後の学習計画、大学卒業後の進路等について5分以内で口頭発表し、それに基づいて複数の教員により質疑応答を行う。 1人当たり20分程度とする。（口頭発表を含む） 学習計画書やその他の資料等を見ながら、面接を受けることはできない。 出願の際に提出された調査書及び学習計画書を面接の参考資料として使用する。

選 抜 方 法	3. 出願書類（調査書・学習計画書） 〈調査書〉 高等学校での科目の履修状況と学習成果，課外活動の状況，社会貢献活動・資格各種の取得状況等から判断し，高校時代の活動を評価する。 〈学習計画書〉 志望理由，入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について，これまでの勉学やさまざまな活動を通して得た経験を元に記述させる。 （1）これまでに熱心に取り組んだこと（勉学，課外活動など）を含めた自己PR（400字以内） （2）当該課程への志望理由と入学後の学習計画（600字以内） （3）大学卒業後の進路希望（200字以内）								
配点， 評価方法， 合否判定基準	【配点】 <table><tr><td>小論文</td><td>個人面接</td><td>出願書類</td><td>合計</td></tr><tr><td>200</td><td>200</td><td>100</td><td>500</td></tr></table> 【評価方法】 （小論文） 課題について自分の考えを的確に述べていること，論旨が明確であること，日本語の文章として適切であること等を総合的に評価し，点数化する。 （個人面接） アドミッション・ポリシーを念頭に，志望課程への関心と意欲，大学での学習計画と将来への見通し，コミュニケーション能力等を客観的に評価し，複数の教員により点数化する。 （出願書類（調査書・学習計画書）） 調査書では，高校時代の活動を判断基準として，「学力」，「行動力」，「意欲」を点数化する。 学習計画書では，アドミッション・ポリシーを理解し自己PRができているか，志望理由が明確で学習計画は的確に立てられているか，将来の進路希望は明確か等を判断基準として，「学力」，「行動力」，「意欲」を評価し，点数化する。 【合否判定基準】 1. 小論文，個人面接及び出願書類（調査書・学習計画書）の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点が同点の場合は，個人面接，小論文の順序で得点の高い者を上位とする。 注）「国際バカロレア枠」について （1）「国際バカロレア枠」受験者から，総得点順に「国際バカロレア枠」合格者を決定する。 （2）（1）の結果，「国際バカロレア枠」で不合格になった者と，当該課程の「国際バカロレア枠」以外の受験者を合わせて総得点順に合格者を決定する。 注）「専門高校枠」について （1）「専門高校枠」受験者から，総得点順に「専門高校枠」合格者を決定する。 （2）（1）の結果，「専門高校枠」で不合格となった者と，当該課程の「専門高校枠」以外の受験者を合わせて総得点順に合格者を決定する。	小論文	個人面接	出願書類	合計	200	200	100	500
小論文	個人面接	出願書類	合計						
200	200	100	500						

1-2 教育学部（総合型選抜Ⅰ） 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 音楽専修 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 美術専修 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 保健体育専修	
出 願 要 件	次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者 1. 弘前大学教育学部での勉学を強く希望する者 2. 本専攻のアドミッション・ポリシーを十分理解し、本専攻への志望動機が明確である者 3. 高等学校若しくは中等教育学校を令和3年4月以降に卒業した者及び令和9年3月に卒業見込みの者 注）教育学部音楽専修・美術専修でそれぞれ個別に選抜を実施し、音楽専修3人、美術専修3人を合格者数の目安とします。 なお、志願状況により内訳が増減することがあります。
選 抜 方 法	○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 音楽専修 実技及び個人面接の評価を総合して選抜を行います。 1. 実技 「共通課題」及び「選択課題」を実施し、演奏終了後に、演奏楽曲に関する知識について口頭試問を行う。 複数の教員により評価する。 「共通課題」 以下の課題を演奏する。 ①コールユーブンゲン第1巻のNo. 49e, No. 52a～b, No. 55a, No. 76a～d, No. 79a～cより、当日指定された曲を歌うこと。 ②演奏（ピアノ）：Hanon No.39「音階」の中から当日指定された同一調号による長調と短調を暗譜で演奏すること。ただし、速度は、♩=80以上とする。 「選択課題」 次の課題A又はBのどちらかを選択し、歌唱、演奏する。 課題A ①演奏（ピアノ）：ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン作曲の任意のピアノソナタの第1楽章、あるいは最終楽章を暗譜で演奏すること。ただし、緩徐楽章は除く。（場合により途中で止めることがある） ②演奏（声楽）：コンコーネ50番（中声用）の12番、25番、32番より当日指定された1曲を母音で歌うこと。ただし、曲中に反復記号が含まれる場合、反復は行わずに演奏することとする。 課題B ①演奏（ピアノ）：ツェルニー 100番練習曲集、ツェルニー 30番練習曲集、ツェルニー 40番練習曲集の中から、任意の1曲を選び演奏すること。（暗譜での演奏でなくとも構わない） ②演奏：独唱又は独奏（ピアノを除く）のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。曲目は自由、演奏時間は原則として10分以内とする。（場合により途中で止めることがある） 演奏曲目の総譜を当日持参し、試験担当者に提示すること。楽器を演奏する場合は、各自楽器を持参すること。なお、共演者を必要とする場合は、受験者側で用意し、必ず当日同伴すること。また、事前にその旨を入試課に連絡すること。

選 抜 方 法

2. 個人面接
複数の教員により受験者1人ずつの面接を行う。
1人当たり10分程度とする。
出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接の参考資料として使用する。

○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 美術専修

実技及び個人面接の評価を総合して選抜を行います。

1. 実技
基本的な造形能力をみる。
複数の教員により評価する。
鉛筆によるデッサン：「与えられたモチーフと自分の手」
サイズ：八つ切りケント紙
鉛筆描画用具を持参すること。試験実施時間は2時間とする。
2. 個人面接
複数の教員により受験者1人ずつの面接を行う。
1人当たり30分程度とする。
日本及び諸外国の美術に関する知識等についての口頭試問を含め、志望動機、適性等について面接を行う。
面接時に過去3年以内に自作した作品を持参すること。（1人で一度に搬入搬出できるものにする。）
上記の作品とは、絵画、彫刻、デザイン、工芸、映像メディア*の作品や任意の大きさのファイルに綴じた学習成果を示す資料、若しくはデッサンのことである。
出願の際に提出された調査書、志望理由書及び当日に持参された作品は、採点せず、面接時の参考資料とする。
なお、面接室への危険物の持ち込みは、禁止とする。
※映像メディア作品を持参する場合は、試験日の1週間前までに入試課に連絡すること。作品はMP4形式で3分以内とし、本人のノート型コンピュータやタブレット端末の持ち込みによる再生を原則とする。その際、面接室内の外部ディスプレイへの出力を前提として、HDMI出力の可能なディスプレイアダプタを携帯すること。機材その他によって再生できない場合の代替策も準備しておくこと。

○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 保健体育専修

実技及び個人面接の評価を総合して選抜を行います。

1. 実技
器械運動・陸上競技・対人競技の3つの領域の運動やスポーツに関する基礎的・基本的な技能のテストを行う。
複数の教員により評価する。

「領域」
①器械運動領域（体づくり運動、表現運動を含む）：マット運動で基本的な身体操作技能および表現技能についてテストを行う。
②陸上競技領域：「走」「跳」「投」の基本的な運動技能についてテストを行う。（体育館で実施）
③対人競技領域：以下の3種目から1種目を選択して、基本的な対人技能についてテストを行う。
A バスケットボール
B バドミントン
C 柔道
持参用具
運動着、柔道着（柔道選択者のみ）、運動靴（体育館用）、筆記用具
※バドミントン選択者はラケットを持参してもよい。

選 抜 方 法	2. 個人面接 複数の教員により受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり40分程度とする。 体育（体育理論を含む）、保健に関する知識等についての口頭試問を含め志望動機や適性等について多面的観点から面接を行う。 出願の際に提出された調査書、志望理由書及び運動歴調査書を面接の参考資料として使用する。						
配点, 評価方法, 合否判定基準	【配点】 ○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 音楽専修，美術専修，保健体育専修 <table><tr><td>実技</td><td>個人面接</td><td>合計</td></tr><tr><td>300</td><td>300</td><td>600</td></tr></table> 【評価方法】 ○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 音楽専修，美術専修，保健体育専修 (実技) 基本的な能力・技術等を把握し、音楽・美術・保健体育の教員として必要な「学力」を評価する。 保健体育専修においては、「運動歴調査書」で、専門とする運動種目における実技能力等を評価し、実技の得点に含める。 (個人面接) 質疑応答等を通して、①自己表現能力，②教職への目的意識，③教員としての適性・資質・能力，④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価する。 美術専修及び保健体育専修においては、それぞれ美術と保健体育に関する知識を問う口頭試問も行い、「学力」も評価する。 【合否判定基準】 ○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 音楽専修，美術専修，保健体育専修 1. 実技及び個人面接の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点が同点の場合は、個人面接の得点の高い者を上位とする。 3. 個人面接の得点が低いと不合格になることがある。	実技	個人面接	合計	300	300	600
実技	個人面接	合計					
300	300	600					

1-3 理工学部（総合型選抜Ⅰ）	
出 願 要 件	次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を令和3年4月以降に卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者、又は高等専門学校3年次を令和9年3月修了見込みの者 2. 人物が優れ、志願する学科の教育・研究内容に強い興味があり、自発的学習意欲と問題解決のための思考力及び資質を有し、かつ十分な基礎学力を有する者 注）数物科学科では、数学講義選択者と物理学講義選択者から、同数程度の合格者を予定しています。 【専門高校枠について】 電子情報工学科の募集人員17人には専門高校枠4人、機械科学科の募集人員24人には専門高校枠2人を含みます。 前述の要件に加え、以下の要件を満たし、出願時に希望した者を専門高校枠出願者として扱います。 ・電子情報工学科：高等学校等（高等専門学校を含む）の工業、商業に関する学科、又は高等学校の総合学科を卒業及び卒業見込みであること（高等専門学校については3年次修了見込みであること）。 ・機械科学科：高等学校等（高等専門学校を含む）の工業に関する学科を卒業及び卒業見込みであること（高等専門学校については3年次修了見込みであること）。 ※専門高校枠を希望する場合は、弘前大学インターネット出願サイトから出願内容を登録する際に「専門高校枠を希望する」を選択する必要があります。選択しない場合は、上記に該当していても専門高校枠出願者として扱いません。
選 抜 方 法	レポート及び個人面接の評価を総合して選抜を行います。 1. 講義の実施とその内容に関するレポート 学科ごとに講義を行い、その内容に関するレポートを作成する。 講義は45分程度、レポートは60分とする。 ○レポート試験実施方法 (数物科学科) 広い意味で数学に関係する講義、広い意味で物理学に関係する講義のいずれかを出願時に選択して受講し、選択した講義に関連して指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度、論理的思考力及び表現力の評価を目的とするものである。 (物質創成化学科) 化学に関する講義を聞いて、講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり、単に高等学校における化学についての学力を見るものではない。 (地球環境防災学科) 広い意味で地球の環境や防災に関係する講義を聞いて、講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり、単に高等学校における理科の科目についての学力を見るものではない。 (電子情報工学科) エレクトロニクスや情報技術の基礎となる数学や理科に関する講義を聞いて、講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり、単に高等学校における数学や理科の科目についての学力を見るものではない。

選 抜 方 法	(機械科学科) 機械の基礎となる理科に関係する講義を聞いて、講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり、単に高等学校における理科の科目についての学力を見るものではない。 (自然エネルギー学科) エネルギー・環境問題を理解するための基礎となる数学や理科に関係する講義を聞いて、指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり、単に高等学校における数学や理科の科目についての学力を見るものではない。 2. 個人面接 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分程度とする。 基礎学力に関する試問を含む。 出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接の参考資料として使用する。 ○試問実施方法 (数物科学科) 数学講義選択者には数学、物理学講義選択者には物理学及び数学に関する試問を実施することにより、大学で学ぶために必要な基礎学力を確認する。 (物質創成化学科) 化学及び英語に関する試問を実施することにより、大学で学ぶために必要な基礎学力を確認する。 (地球環境防災学科) 数学及び英語に関する試問を実施することにより、大学で学ぶために必要な基礎学力を確認する。 (電子情報工学科) 数学に関する試問を実施することにより、大学で学ぶために必要な基礎学力を確認する。 (機械科学科) 数学及び英語に関する試問を実施することにより、大学で学ぶために必要な基礎学力を確認する。 (自然エネルギー学科) 試問の開始時に、志願者は「物理基礎」または「化学基礎」のどちらか1科目を選択する。選択した科目に関する試問を実施することにより、大学で学ぶために必要な基礎学力を確認する。
---------	---

【配点】

レポート	個人面接	合計
200	300	500

【評価方法】

(レポート)

学部において実施する講義に、能動的に対応するために必要な「学力」および「行動力」を評価し、点数化する。

(個人面接)

基礎学力に関する試問において、学部のカリキュラムに基づく学習を進めるのに必要な「学力」を評価する。また、志望動機、入学後の履修計画、卒業後の見通しなどに関する総合的な質疑により、「意欲」および「行動力」を評価し、点数化する。

【合否判定基準】

1. レポート（講義を実施し、その内容に関するレポートを作成）及び個人面接（基礎学力に関する試問を含む）の総得点順に合格者を決定する。
2. 総得点が同点の場合は、個人面接の得点の高い者を上位とする。

注)「専門高校枠」について

- (1) 「専門高校枠」受験者から、総得点順に「専門高校枠」合格者を決定する。
- (2) (1)の結果、「専門高校枠」で不合格となった者と、当該学科の「専門高校枠」以外の受験者を合わせて総得点順に合格者を決定する。

配点,
評価方法,
合否判定基準

1-4 農学生命科学部（総合型選抜Ⅰ）	
出 願 要 件	次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を令和3年4月以降に卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者、又は高等専門学校3年次を令和9年3月修了見込みの者 2. 人物が優れ、志願する学科の教育・研究内容に強い興味があり、自発的学習意欲と問題解決のための思考力及び資質を有し、かつ十分な基礎学力を有する者 【専門高校枠について】 国際園芸農学科の募集人員15人には専門高校枠4人、地域環境工学科の募集人員9人には専門高校枠3人を含みます。 前述の要件に加え、以下の要件を満たし、出願時に希望した者を専門高校枠出願者として扱います。 ・国際園芸農学科：高等学校等の農業、林業、水産、工業、商業、情報に関する学科を卒業及び卒業見込みであること。 高等専門学校についても同様の学科を3年次修了見込みであること。 ・地域環境工学科：高等学校等の農業、工業に関する学科を卒業及び卒業見込みであること。 高等専門学校についても同様の学科を3年次修了見込みであること。 ※専門高校枠を希望する場合は、弘前大学インターネット出願サイトから出願内容を登録する際に「専門高校枠を希望する」を選択する必要があります。選択しない場合は、上記に該当していても専門高校枠出願者として扱いません。
選 抜 方 法	小論文及び個人面接の評価を総合して選抜を行います。 1. 小論文 農学や生命科学などに関するいくつかのテーマについて論述させる。 (制限字数800字) 90分 2. 個人面接 複数の教員による個人面接を20分程度で行う。 具体的には、アドミッション・ポリシーに掲げた農学生命科学部及び各学科が求める学生像に適するかどうかを総合的に判断するための質問を行う。また、面接の過程で、大学で学ぶために必要な基礎学力を確認するため、口頭試問を行う。 出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接の参考資料として使用する。 なお、志望理由書は、志望理由、将来への展望、自己PRなどについて、これまでの勉強やさまざまな活動をとおして得た経験を基に記入する。(制限字数600字) ○口頭試問実施方法 (生物学科) 「生物基礎」及び「化学基礎」の内容を問う口頭試問を実施することにより、大学で学ぶために必要な基礎学力を確認する。 (分子生命科学科) 「生物基礎」及び「化学基礎」の内容を問う口頭試問を実施することにより、大学で学ぶために必要な基礎学力を確認する。 (食料資源学科) 口頭試問の開始時に、志願者は「生物基礎」または「化学基礎」のどちらか1科目を選択する。選択した科目の内容を問う口頭試問を実施することにより、大学で学ぶために必要な基礎学力を確認する。 (国際園芸農学科) 口頭試問の開始時に、志願者は「国際園芸農学科と関連性が高く、自身が興味・関心の高い科目」を1つあげる。その科目の内容を問う口頭試問を実施することにより、大学で学ぶために必要な基礎学力を確認する。

選 抜 方 法	(地域環境工学科) 口頭試問の開始時に、志願者は「地域環境工学科と関連性が高く、自身が興味・関心の高い科目」を1つあげる。その科目の内容を問う口頭試問を実施することにより、大学で学ぶために必要な基礎学力を確認する。						
配点, 評価方法, 合否判定基準	【配点】 <table><tr><td>小論文</td><td>個人面接</td><td>合計</td></tr><tr><td>300</td><td>450</td><td>750</td></tr></table> 【評価方法】 (小論文) 論理的思考力, 読解力, 記述能力などを有しているかどうかを精査することにより, 「学力」を評価し, 点数化する。 (個人面接) 志望理由, 興味・関心がある研究分野などについて, 質疑応答を行うことにより, 「行動力」, 「意欲」を, 口頭試問を行うことにより, 「学力」を評価し, これらの評価を総合して点数化する。 【合否判定基準】 1. 小論文及び個人面接の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点が同点の場合は, 個人面接の得点の高い者を上位とする。 3. 個人面接の得点が低いと不合格になることがある。 注)「専門高校枠」について (1)「専門高校枠」受験者から, 総得点順に「専門高校枠」合格者を決定する。 (2) (1)の結果, 「専門高校枠」で不合格となった者と, 当該学科の「専門高校枠」以外の受験者を合わせて総得点順に合格者を決定する。	小論文	個人面接	合計	300	450	750
小論文	個人面接	合計					
300	450	750					

2. 総合型選抜Ⅱ

【大学入学共通テストの受験について】

総合型選抜Ⅱでは大学入学共通テストを課しています。本学が指定した教科・科目を受験しない場合は、合格者とはなりませんので、各学部の実施教科・科目及び配点等を参照のうえ、科目名、科目数には十分注意してください。

本学では、過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません。

教科・科目名 学部・学科名		国語	地理歴史				公民			数学①	数学②		理科					外国語	情報	
		国語	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	公共 地理総合／歴史総合／ 公共	公共、倫理	公共、政治・経済	公共（再掲） 地理総合／歴史総合／ 公共	数学Ⅰ 数学Ⅰ	数学Ⅰ、 数学Ⅱ、 数学Ⅲ	数学Ⅱ、 数学Ⅲ	物理基礎／化学基礎 生物基礎／地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語 （リスニング含む）	情報Ⅰ	
教育学部		○	○	○	○	○ 1	○	○	○	○	○	○	○ 1	○	○	○	○	◎ 1	×	3教科3科目
医学部	医学科	◎ 1	○	○	○	○ 1	○	○	○	×	◎ 1	◎ 1	×	○	○ 2	○	×	◎ 1	◎ 1	6教科8科目
	保健学科	◎ 1	○	○	○	○ 1	○	○	○	×	◎ 1	◎ 1	×	○	○ 2	○	×	◎ 1	◎ 1	6教科8科目

(注1) ◎は必須，○は選択科目を示しています。

(注2) □囲みの数字は受験科目数を表しています。

(注3) 大学入学共通テストで受験できる教科・科目の組み合わせについては、大学入学共通テストの受験案内で確認してください。

(注4) 「地理総合／歴史総合／公共」を選択する場合は、3つの出題範囲（「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」）のうち、2つを選択解答してください。

(注5) 「理科」は、「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」を選択する場合は、4つの出題範囲（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」）のうち、2つを選択解答してください。

(注6) 「英語」には、リスニングを含みます。リスニングを受験しない場合は、出願資格がなくなります。ただし、リスニングを免除された者は除きます。配点については、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計得点を各学部・学科等の配点に換算して利用します。

なお、リスニングの受験を免除された者について、教育学部においてはリーディング（100点満点）の得点をそのまま利用し、医学部においてはリーディングの成績を200点満点に換算して利用します。

2-1 教育学部（総合型選抜Ⅱ） 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース 学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻 養護教諭養成課程	
出 願 要 件	次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者 【全志願者共通】 1. 弘前大学教育学部での勉学を強く希望する者 2. 本課程又は専攻のアドミッション・ポリシーを十分理解し、本課程又は専攻への志望動機が明確である者 3. 高等学校若しくは中等教育学校を令和3年4月以降に卒業した者及び令和9年3月に卒業見込みの者 4. 次のとおり令和9年度大学入学共通テストの3教科3科目を受験する者 (国 語)「国語」 _____ から1 (地 歴)「地総, 地探」, 「歴総, 日探」, 「歴総, 世探」, 「地／歴／公」 _____ から1 (公 民)「公, 倫」, 「公, 政・経」, 「地／歴／公(再掲)」 _____ から1 (数 学)「数Ⅰ」, 「数Ⅰ, 数A」, 「数Ⅱ, 数B, 数C」 _____ から1 (理 科)「物基／化基／生基／地基」, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 _____ から1 (外国語)「英語」 を1 注1)「国語」は100点満点に換算して利用します。 注2)「地／歴／公(地理総合／歴史総合／公共)」を選択する場合は、3つの出題範囲(「地理総合」, 「歴史総合」及び「公共」)のうち、2つを選択解答してください。 注3)「物基／化基／生基／地基(物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎)」を選択する場合は、4つの出題範囲(「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」)のうち、2つを選択解答してください。 注4)「英語」の配点については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)とし、合計点(200点満点)を100点満点に換算して利用します。リスニングの受験を免除された者は、リーディング(100点満点)をそのまま利用します。 注5)受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は、得点の高い教科・科目の成績を用います。ただし、「地歴」, 「公民」及び「理科」については、第1解答科目の成績を優先して用います。 【地域志向教員枠】 5. 学校教育教員養成課程初等中等教育専攻小学校コース(地域志向教員枠)については、前述の要件に加え、次の要件を備える者 ・青森県採用教員として教職を目指す強い意志がある者 ※出身高校, 出身地等地域の制限は設けない ・地域教育課題の解決に意欲的に取り組もうとする者 6. 学校教育教員養成課程初等中等教育専攻小学校コース(地域志向教員枠)については、次の事項について遵守できる者 【入学後】 ・カリキュラム上必須となっている「地域志向教員養成プログラム」(新設予定)を履修すること。 ・技術・家庭科サブコースに所属すること。 ※プログラム及びサブコースの詳細は、本学教育学部ホームページにて公表を予定しています。 【卒業要件】 小学校教諭一種免許状に加え、中学校教諭一種若しくは二種免許状(技術)又は中学校教諭一種若しくは二種免許状(家庭)を取得すること。 なお、地域志向教員枠で入学し、「地域志向教員養成プログラム」を修了し、卒業(見込)となった者のうち、大学が推薦する者は、青森県公立学校教員採用候補者選考試験(小学校教諭)の第一次試験における一部が免除される見通しです。

選 抜 方 法	○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース 大学入学共通テストの得点，集団討論，個人面接及び出願書類（※）の評価を総合して選抜を行います。 （※）一般枠では，志望理由書のみ。 地域志向教員枠では，志望理由書及び地域志向教員志望理由書の2つ。 1. 集団討論 課題図書に関するテーマについて，グループで討論を行う。討論時間は1グループ当たり30分程度とする。 次の課題図書を試験当日までに入手し，読んでおくこと。討論のテーマを設定し，受験者同士で討論をさせる。 （課題図書） 光文社新書『わかったつもり－読解力が見つからない本当の原因－』 著者 西林克彦，発行 光文社，定価700円＋税，ISBN：9784334033224 2. 個人面接 ○個人面接実施方法 （一般枠・地域志向教員枠共通面接） 複数の教員により受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり20分程度とする。 はじめに志望理由書の内容について，口頭でプレゼンテーションをさせる。 出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接の参考資料として使用する。 （地域志向教員枠独自面接） 1人当たり上記の共通面接20分程度に加えて，地域志向教員枠独自面接を10分程度で行い，合計30分程度とする。 はじめに地域志向教員志望理由書の内容について，口頭でプレゼンテーションをさせる。 出願の際に提出された調査書及び地域志向教員志望理由書を面接の参考資料として使用する。 3. 出願書類（志望理由書・地域志向教員志望理由書） 〈志望理由書〉 ①教員になりたい理由（きっかけ），②課外活動やボランティア活動など，学校・家庭・地域において多様な人々と積極的に関わっていく主体的な活動や，活動の実施に向けた努力のプロセスを自由な形式で記載すること。 〈地域志向教員志望理由書〉※<u>地域志向教員枠で出願する者のみ</u> 地域教育課題についての問題意識，地域での活動履歴等をもとにして，地域教育課題の解決に携わる主体的な活動や，活動の実施に向けた努力のプロセスを自由な形式で記載すること。 ○学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻 大学入学共通テストの得点，集団討論，個人面接及び出願書類（志望理由書）の評価を総合して選抜を行います。 1. 集団討論 課題図書に基づき指示するテーマについて，グループでの討議・取りまとめ，全体での発表・討議等を行う。 集団討論は，それぞれのグループでの討議・取りまとめを概ね60分，その後，全体での発表・討議を概ね60分行う。 次の課題図書を試験当日までに入手し，読んでおくこと。課題図書は当日持参すること。 （課題図書） 『「不」自由でなにがわるい 障がいあってもみんなと同じ』 著者 今村美都，発行 新日本出版社，定価1,500円＋税，ISBN：9784406068703
---------	---

選 抜 方 法

2. 個人面接

複数の教員により志望理由，適性，意欲，関心を受験者1 人ずつに問う個人面接（ロールプレイ等を含む）を行う。
1 人当たり15分程度とする。
出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接の参考資料として使用する。

3. 出願書類（志望理由書）

志望理由書は，①教員になりたい理由（きっかけ），②課外活動やボランティア活動など，学校・家庭・地域において多様な人々と積極的に関わっていく主体的な活動や，活動の実施に向けた努力のプロセスを自由な形式で記載すること。

○養護教諭養成課程

大学入学共通テストの得点，集団討論，個人面接及び出願書類（志望理由書）の評価を総合して選抜を行います。

1. 集団討論

「心と体の健康」に関するテーマについて，グループで討論を行う。
討論時間は1 グループ当たり40分程度とする。

2. 個人面接

複数の教員により志望理由，適性，意欲，関心を受験者1 人ずつに問う個人面接を行う。
1 人当たり15分程度とする。
出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接の参考資料として使用する。

3. 出願書類（志望理由書）

志望理由書は，①教員になりたい理由（きっかけ），②課外活動やボランティア活動など，学校・家庭・地域において多様な人々と積極的に関わっていく主体的な活動や，活動の実施に向けた努力のプロセスを自由な形式で記載すること。

配点,
評価方法,
合否判定基準

【配点】

○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース（一般枠），
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻，養護教諭養成課程

大学入学共通テスト						集団討論	個人面接	出願書類	合計
国語	地歴	公民	数学	理科	外国語				
100	100	100	100	100	100	200	200	50	750
100			100						

○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース（地域志向教員枠）

大学入学共通テスト						集団討論	個人面接	出願書類	合計
国語	地歴	公民	数学	理科	外国語				
100	100	100	100	100	100	200	300※ ¹	100※ ²	900
100			100						

※¹ 個人面接300点のうち，100点は地域志向教員枠独自の面接の得点。
※² 出願書類100点のうち，50点は地域志向教員志望理由書の得点。

配点,
評価方法,
可否判定基準

【評価方法】

○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース

(集団討論)

討論を通して、①話し方・聞き方等のコミュニケーション能力、②発言内容（集団討論のテーマを正しく理解しているか、課題図書の内容を的確に掴んでいるか、一般論ではなく自分の言葉で発言しているか、議論に対して建設的な発言をしているか、等）、③教員としての適性等を把握し「学力」「行動力」「意欲」を評価する。

(個人面接)

一般枠・地域志向教員枠共通面接では、質疑応答等を通して、①自己表現能力、②教職への目的意識、③教員としての適性・資質・能力、④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価する。

地域志向教員枠独自面接では、地域教育課題についての問題意識、地域での活動履歴等をもとにして、地域教育課題の解決に向けての「行動力」と「意欲」を評価する。

(出願書類（志望理由書・地域志向教員志望理由書）)

志望理由書は、志望理由や活動実績等の内容から、①自己表現能力、②教職への目的意識、③教員としての適性・資質・能力、④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し、主に「意欲」を評価する。

志望理由書はA～Dに4段階評価し、点数化する。各段階の評価点数は、A：50点、B：40点、C：30点、D：20点とする。

地域志向教員志望理由書は、地域教育課題についての問題意識、地域での活動履歴等を把握し、主に「意欲」を評価する。地域志向教員志望理由書はA～Dに4段階評価し、点数化する。各段階の評価点数は、A：50点、B：40点、C：30点、D：20点とする。

○学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻、養護教諭養成課程

(集団討論)

討論を通して、①話し方・聞き方等のコミュニケーション能力、②発言内容、③教員としての適性等を把握し「学力」「行動力」「意欲」を評価する。

(個人面接)

質疑応答等を通して、①自己表現能力、②教職への目的意識、③教員としての適性・資質・能力、④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価する。

(出願書類（志望理由書）)

志望理由書は、志望理由や活動実績等の内容から、①自己表現能力、②教職への目的意識、③教員としての適性・資質・能力、④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し、主に「意欲」を評価する。

出願書類はA～Dに4段階評価し、点数化する。各段階の評価点数は、A：50点、B：40点、C：30点、D：20点とする。

【可否判定基準】

○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース（一般枠）、

学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻、養護教諭養成課程

1. 大学入学共通テスト、集団討論、個人面接及び出願書類（志望理由書）の総得点順に合格者を決定する。
2. 総得点が同点の場合は、個人面接、集団討論、大学入学共通テストの順序で得点の高い者を上位とする。
3. 個人面接の得点が低いと不合格になることがある。
4. 大学入学共通テストの得点が著しく低い場合は、不合格になることがある。

配点, 評価方法, 合否判定基準	○学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース（地域志向教員枠） 1. 大学入学共通テスト，集団討論，個人面接及び出願書類（志望理由書・地域志向教員志望理由書）の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点が同点の場合は，個人面接，集団討論，大学入学共通テストの順序で得点の高い者を上位とする。 3. 個人面接の得点が低いと不合格になることがある。 4. 大学入学共通テストの得点が著しく低い場合は，不合格になることがある。 注）「地域志向教員枠」と「一般枠」の取扱い (1) 「地域志向教員枠」受験者のうち合計点の点数順に上位5人を「地域志向教員枠」合格者とする。 (2) (1)の結果，「地域志向教員枠」において，不合格になった者を「一般枠」に組み入れる。すなわち，「一般枠」と「地域志向教員枠（のうち不合格者）」を合わせて，上位20人を「一般枠」合格者とする。 (3) (2)の合計点は，「地域志向教員枠」独自の出願書類（地域志向教員志望理由書）及び面接の加点を控除し，「一般枠」の配点により計算する。
---------------------------------	--

2-2 医学部 医学科（総合型選抜Ⅱ）

出 願 要 件	次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者 1. 次にあげる地域の高等学校若しくは中等教育学校を令和8年3月に卒業した者又は令和9年3月に卒業見込みの者 (1) 青森県内枠-----青森県 (2) 北海道・東北枠-----北海道, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県 2. 下記の事項について確約できる者 - 大学在学中は青森県のキャリア形成卒前支援プランの内容に基づき、各種卒前支援プロジェクト（県が設定しているプロジェクト及び弘前大学のカリキュラム）に参加すること。 - 次の従事要件及び離脱要件に従うこと。 (i) 従事要件 卒業（医師国家試験合格を前提）後、直ちに青森県のキャリア形成プログラム（※）（対象期間は、臨床研修を含む9年間、うち4年間は医師が不足している地域での勤務）に則って医療に従事すること。 (ii) 離脱要件 (1) 退学したとき (2) 死亡したとき (3) 心身の重大な故障等があるとき (4) その他、青森県知事及び弘前大学長（以下「両者」という。）がやむを得ないと認める事由が存在し、かつ、それにより猶予期間を設定しても青森県のキャリア形成プログラムに則った勤務が困難であると認められるとき なお、(3)(4)については、その事由について両者に誠意を持って説明を行うこと。 (※) ・医療法に基づき、卒業後は青森県のキャリア形成プログラムが適用されます。 ・キャリア形成プログラム及びキャリア形成卒前支援プランについての詳細は、青森県庁ホームページにて確認願います。 (https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/iryo/kyariakeiseiprogram.html) 3. 次のとおり令和9年度大学入学共通テストの6教科8科目をすべて受験する者 (国 語)「国語」 を1 (地 歴)「地総, 地探」,「歴総, 日探」,「歴総, 世探」,「地／歴／公」 から1 (公 民)「公, 倫」,「公, 政・経」,「地／歴／公（再掲）」 (数 学)「数Ⅰ, 数A」 を1 「数Ⅱ, 数B, 数C」 を1 (理 科)「物理」,「化学」,「生物」 から2 (外国語)「英語」 を1 (情 報)「情報Ⅰ」 を1 注1)「地／歴／公（地理総合／歴史総合／公共）」を選択する場合は、3つの出題範囲（「地理総合」,「歴史総合」及び「公共」）のうち、2つを選択解答してください。 注2) 受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は、得点の高い教科・科目の成績を用います。ただし、「地歴」,「公民」については、第1解答科目の成績を優先して用います。 注3)「英語」の配点については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点を利用します。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディングの成績を200点満点に換算して利用します。 注4)「情報」の配点については、得点(100点満点)を50点満点に換算して利用します。
---------	--

選 抜 方 法	大学入学共通テストの得点，個人面接及び総合論述の評価を総合して選抜を行います。 1. 個人面接 複数の教員により将来性，積極性，信頼感，自己統制，社会性を受験者1人ずつに問う個人面接を行う。 1人当たり25分程度とする。 出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接の参考資料として使用する。 2. 総合論述 与えられた資料の内容を的確に捉え，課題を見出し，自身の考えの思考過程及び最終的結論に関して論述させる。自身の考えを論理的に構築・表現する力が求められる。																											
配点， 評価方法， 合否判定基準	【配点】 <table><tr><th colspan="7">大学入学共通テスト</th><th rowspan="2">個人面接</th><th rowspan="2">総合論述</th><th rowspan="2">合計</th></tr><tr><th>国語</th><th>地歴</th><th>公民</th><th>数学</th><th>理科</th><th>外国語</th><th>情報</th></tr><tr><td>200</td><td colspan="2">100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>50</td><td>200</td><td>200</td><td>1,350</td></tr></table> 【評価方法】 (個人面接) 志望理由，医療に対する関心，卒業後の進路等について，質疑応答を行うことにより，「行動力」，「意欲」を評価する。 (総合論述) 資料の理解・解析・分析を通じて，課題解決に必要な論理的思考力と問題発見能力の他，医学分野における資質を以下の観点に基づき総合的・多角的に評価する。 1. 資料理解力：資料の本質を捉え，的確に解析する能力。 2. 問題発見能力：与えられた情報や状況から課題を見出し，それを適切に定義する能力。 3. 論理的思考力：課題に対する考えを論理的に構成する能力。 4. 分析力：資料や課題の要点を整理し，深く考察する能力。 5. 表現力：明確かつ説得力のある形で自身の考えを示す能力。 【合否判定基準】 1. 大学入学共通テスト，個人面接及び総合論述の総得点順に合格者を決定する。 2. 総得点が同点の場合は，個人面接，総合論述の順序で得点の高い者を上位とする。 3. 大学入学共通テストの合計点，個人面接の得点及び総合論述の得点のうち，いずれかの得点が著しく低い場合，不合格になることがある。 注)「青森県内枠」と「北海道・東北枠」の取扱い (1)「青森県内枠」受験者のうち合計点の点数順に上位27人を「青森県内枠」合格者とする。 (2)「北海道・東北枠」受験者のうち合計点の点数順に上位15人を「北海道・東北枠」合格者とする。	大学入学共通テスト							個人面接	総合論述	合計	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	200	100		200	200	200	50	200	200	1,350
大学入学共通テスト							個人面接	総合論述				合計																
国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報																						
200	100		200	200	200	50	200	200	1,350																			

2-3 医学部 保健学科 (総合型選抜Ⅱ)	
出 願 要 件	次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を令和3年4月以降に卒業した者及び令和9年3月に卒業見込みの者、又は高等専門学校3年次を令和9年3月修了見込みの者 2. 人物、学力ともに優れ、本学科及び志望する専攻への強い進学意欲がある者 3. 次のとおり令和9年度大学入学共通テストの6教科8科目をすべて受験する者 (国 語)「国語」 を1 (地 歴)「地総, 地探」,「歴総, 日探」,「歴総, 世探」,「地／歴／公」 から1 (公 民)「公, 倫」,「公, 政・経」,「地／歴／公(再掲)」 から1 (数 学)「数Ⅰ, 数A」 を1 「数Ⅱ, 数B, 数C」 を1 (理 科)「物理」,「化学」,「生物」 から2 (外国語)「英語」 を1 (情 報)「情報Ⅰ」 を1 注1)「地／歴／公(地理総合／歴史総合／公共)」を選択する場合は、3つの出題範囲(「地理総合」,「歴史総合」及び「公共」)のうち、2つを選択解答してください。 注2)受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は、得点の高い教科・科目の成績を用います。ただし、「地歴」,「公民」については、第1解答科目の成績を優先して用います。 注3)「英語」の配点については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点を利用します。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディングの成績を200点満点に換算して利用します。 注4)「情報」の配点については、得点(100点満点)を50点満点に換算して利用します。
選 抜 方 法	大学入学共通テストの得点、小論文、個人面接及び出願書類(調査書・志望理由書)の評価を総合して行います。 1. 小論文 専攻ごとに1つのテーマについて論述させる。(制限字数800字) 60分 2. 個人面接 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 出願の際に提出された調査書及び志望理由書を面接の参考資料として使用する。 3. 出願書類(調査書・志望理由書) 調査書については、高等学校での科目の履修状況、教科外活動の状況、ボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得などから判断し、高校時代の活動を評価する。 志望理由書は、志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について、これまでの勉学やさまざまな活動を通して得た経験を基に600字以内で自分の考えを記入させる。

7 合格者の発表

合格者発表日			発表方法
総合型選抜Ⅰ	人文社会科学部 教育学部 理工学部 農学生命科学部	令和8年11月12日（木） 午後2時（予定）	特設サイト (https://sp-nyushi.hirosaki-u.ac.jp/) 上で発表
総合型選抜Ⅱ	教育学部 医学部	令和9年2月5日（金） 午後2時（予定）	

合格者には、「合格通知書」を合格発表後速やかに、出願時の登録住所あてに速達で郵送します。合格者の受験番号は本学ホームページでも確認できますが、ホームページの掲載情報は本学の情報提供サービスの一環として行うものであり、「合格通知書」をもって正式な通知とします。なお、電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

注)「合格通知書」の到着には、地域にもよりますが、合格発表後2～3日かかる場合があります。

8 入学手続

1. 入学手続の方法

合格者へは、「合格通知書」送付時に入学手続に必要な書類を送付します。

入学手続は、インターネットを利用した入学手続登録の完了後、必要書類を郵送してください。

期限までに手続を完了しない方は、**入学を辞退**したものとして取り扱います。

入学手続期限	令和9年2月17日（水）午後5時までに到着するように、必要書類一式を「書留速達」で郵送してください。 〔 <u>郵送先</u> 〕：弘前大学学務部入試課〕
--------	--

2. 入学手続の際に提出・納付するもの

入学手続の際には、以下のものが必要になります。

詳細は合格通知書送付の際にお知らせします。

(1) 大学入学共通テスト 「国公立大学入学確認票」	総合型選抜Ⅱ合格者のみ。 大学入学共通テスト出願サイトのマイページより「国公立大学入学確認票」を取得し、印刷してください。
(2) 誓約・保証書	本人と連帯保証人（身元引受人）それぞれの印鑑が必要になります。
(3) 入学料 282,000 円（予定） （入学料減免を申請する場合は除く）	納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

- ※ 授業料は、年額535,800円（前期分267,900円 後期分267,900円）（予定）になります。納付期限等は、前期分5月31日、後期分10月31日となりますが、希望により入学料と併せて前期分又は年額（前期分＋後期分）を前納することができます。ただし、授業料減免を申請する場合は、授業料を前納しないでください。
- ※ 入学時までに入学金及び授業料が改定された場合は、それぞれ改定後の額となります。また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- ※ 入学料及び授業料の免除・徴収猶予については、「9 入学料及び授業料の減免について」をご覧ください。

3. 入学手続に関する注意事項

- ① 合格者は、本学に入学しなければなりません。特別な事情によって入学を辞退する場合は、入学手続日までに本学の許可を得なければなりません。
- ② 入学手続完了者は、一般選抜を受験しても合格者となることはできません。
- ③ 本学への入学手続を行わず、辞退の手続きも行っていない場合は、その後、本学及び他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格者となることはできません。
- ④ 納付済みの入学料については、入学手続完了後は原則として返還しません。入学手続き時に入学料の減免を申請する場合は、入学料を絶対に納付しないようご留意願います。
- ⑤ 納付済みの授業料については、令和9年3月31日（水）午後5時までに入学を辞退した場合に限り、当該授業料相当額を返還します。

9 入学料及び授業料の減免について

弘前大学は、令和元年9月20日に「高等教育の修学支援新制度の支援対象機関」として文部科学大臣より認定されました。

「高等教育の修学支援新制度」とは、令和2年度以降、大学等における修学の支援に関する法律に基づき、学部学生を対象とした授業料・入学料の減免や、日本学生支援機構による給付型奨学金の支給が行われるものです。

しっかりとした「学ぶ意欲」があり、成績基準、世帯収入基準を満たしていれば、返還を要しない給付型奨学金と授業料・入学料の免除または減額による支援を受けることができます。

また、令和6年度よりこの日本学生支援機構による給付型奨学金の支援区分に「多子世帯区分」が追加され、多子世帯であれば入学料・授業料の減免が受けられるようになりました。

手続きの詳細については、合格者へ送付にてご案内します。

【関連情報】

- 文部科学省ホームページ（高等教育の修学支援新制度）
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm
- 日本学生支援機構（JASSO）ホームページ（奨学金の制度（給付型））
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>
- 日本学生支援機構（JASSO）ホームページ（進学資金シミュレーター）
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html>

10 学生寮への入寮について

令和9年1月下旬～2月頃に本学ホームページに「入寮案内」が掲載されますので、必要書類や受付期間などはそちらをご確認ください。

ご覧になれない場合は、下記の間合せ先までご連絡をお願いします。

○ホームページURL

<https://www.hirosaki-u.ac.jp/campuslife/consultation/gakuryo/>

○間合せ先

弘前大学学務部学生課 学生支援グループ

電話：0172-39-3107 FAX：0172-39-3119

11 合格しなかった場合の取扱い

総合型選抜に合格しなかった場合も、国公立大学の一般選抜に出願することができます。

出願にあたっては、各大学・学部等により大学入学共通テストの受験を要する教科・科目が異なる場合がありますので特に注意してください。

「令和9年度学生募集要項（一般選抜）」（11月公表予定）は本学入試情報ホームページ（<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>）からダウンロードできます。

12 入学試験個人成績の開示

令和9年度入学試験における個人成績を以下のように開示します。

開示内容	総得点及び試験科目毎の得点を開示します。 ※大学入学共通テストの結果に関しては、選考で使用した傾斜配点後の得点を科目毎に開示します。
開示方法及び期間	令和9年5月6日（木）～5月31日（月）の期間中に弘前大学インターネット出願サイトからマイページにログイン後、閲覧できます。閲覧にはマイページへのログインID、パスワードの入力が必要です。 ※出願時に開示希望した方のみ閲覧できます。 URL： https://e-apply.jp/ds/hirosaki-u/

13 個人情報の取扱いについて

(1) 利用目的

志願者から提出された個人情報は、入学者選抜のほか、次の範囲で利用します。

- ①入学者の学籍管理及び学生生活支援に関すること。
- ②入学者選抜の改善のための調査・研究に関すること。
- ③その他、教育・研究に関すること。

上記の利用目的に係る個人情報の取扱い業務の全部又は一部を外部に委託する場合があります。

(2) 国公立大学間の情報提供

国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続等に関する個人情報（氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テスト受験番号）を大学入試センター及び併願先国公立大学へ提供します。

(3) 第三者への提供

入学後の学生生活支援等のため、志願者の希望に基づき、弘前大学と業務委託契約を締結している弘前大学生生活協同組合から資料（新生活サポート、教科書教材、アパート等の情報パンフレット）を送付します。

資料請求を希望する方の同意がある場合に限り、弘前大学生生活協同組合へ個人情報（氏名、住所、電話番号、本学受験番号）を提供します。同意の有無については、インターネット出願時に確認いたします。

(4) EU一般データ保護規則（GDPR）の適用に係る手続きについて

欧州経済領域（EEA）に在住する者は、EU一般データ保護規則（General Data Protection Regulation（GDPR））の適用を受けるため、別に手続きが必要となるので、事前に下記連絡先に連絡してください。

弘前大学学務部入試課 電 話：0172-39-3122 FAX：0172-39-3125 メール：nyushi@hirosaki-u.ac.jp

14 「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」について

こども性暴力防止法が成立し、2026年12月25日から施行される予定です。

この法律により、実習を行う前に、実習施設から法に基づく「犯罪事実確認」が行われる可能性があります。確認の結果、特定性犯罪の前科があると判断された場合には、実習を行うことはできません。

教育学部の学生は教育実習が卒業要件となるため、入学手続時に①同意書（犯罪事実確認等に関する同意）及び②誓約書（特定性犯罪前科がないことの誓約）を提出していただきます。提出できない場合は入学を許可できませんので、内容を十分に理解のうえ、出願してください。

教育学部以外の学部でも、教育実習の前に、提出していただきますので、教員免許状の取得を希望する方は、必ず確認してください。

【参考】制度の詳細はこちらをご覧ください。

こども家庭庁ホームページ： <https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou>

弘前大学入試情報ホームページ： <https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/news/information/17029/>

15 各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

人文社会科学部

1) 人文社会科学部が求める学生像

人文社会科学部では、多元的な文化理解と現代社会に対する多面的理解を重視したカリキュラムを提供することによって、地域文化を含む自国の文化を創造し発信する力、地域課題を含めて現代社会が直面している諸課題を発見・分析・解決する力を養い、社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 人文科学と社会科学の諸領域（考古学、歴史学、文学、哲学、法学、経済学、経営学、社会学等）に関わる専門的知識・技能を習得するための基礎学力
- 学んだ専門的知識・技能を文化の振興や社会の発展に役立てるための行動力
- 人間文化の発展に貢献することや現代社会が直面する複雑な問題を解決することへの意欲

また、人文社会科学部の各課程は、それぞれ次のような学生を求めます。

【文化創生課程】

- 地域社会の発展のために、地域の文化振興や地域のグローバル化の推進等の活動を担っていけるような行動力のある人
- 国内外の有形無形の文化を人類共通の遺産として次世代に伝えていくこと、深い歴史認識に立って世界情勢を的確に見極めることに意欲的である人

【社会経営課程】

- 地域社会の発展のために、自治体の政策立案や地域産業の育成、地域住民との協働による問題解決等に貢献していくことができるような行動力のある人
- 少子高齢化や人口減少、経済・産業基盤の変化等、現代社会が直面する諸課題を解決することに意欲的である人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 教科・科目の学習を通して、歴史文化や社会に関する基礎知識をはじめ、論理的思考力・情報処理能力、コミュニケーション能力等を身に付けておく必要があります。
- グループ学習等の体験型学習を通して、自分自身の考えを積極的に発信していく力や学習に主体的に参加する姿勢を身に付けておく必要があります。
- 物事を多面的に理解し、複雑化した問題を的確に分析する力を養うために、国内外の様々な問題に広く関心を持つ姿勢や、多様な分野の学習に積極的に取り組む姿勢を身に付けておく必要があります。

3) 入学者選抜の基本方針

人文社会科学部では、人文社会科学分野の人材として育つにふさわしい学力・行動力・意欲を有する学生を選抜する目的で、多面的・総合的な評価方法により、別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
一般選抜 (後期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し、様々な課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	○		
	小論文				
総合型選抜Ⅰ	小論文	本学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解した上で、本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	○	○	○
	個人面接				
	調査書				
	学習計画書				

【別表2】選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
小論文	一般・後期	人間の営みや現代社会が直面している課題等について、文献等の資料を提示し自分の考えを述べさせます。 資料が示していることを十分に理解しているか、設問に対して自分の考えを論理的に述べているか、日本語の文章表現として適切であるか等を判断基準として、「学力」を評価します。
	総合Ⅰ	一つのテーマについて論述させます。 設問に対して自分の考えを論理的に述べているか、日本語の文章表現として適切であるか等を判断基準として、「学力」を評価します。
個人面接	総合Ⅰ	自己PR、志望理由と入学後の学習計画、大学卒業後の進路等について口頭発表させ、発表内容に関する質疑応答を行います。 アドミッション・ポリシーを念頭に置いた志望課程への関心と意欲が高いか、大学入学後の学習計画と将来への見通しについては明確か、質疑応答が的確になされているか等を判断基準として、「学力」、「行動力」、「意欲」を評価します。
調査書	総合Ⅰ	高等学校での科目の履修状況と学習成果、教科外活動の状況、社会貢献活動・各種の資格の取得状況等を判断基準として、「学力」、「行動力」、「意欲」を評価します。
学習計画書	総合Ⅰ	志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について、これまでの勉強や様々な活動を通して得た経験を元に記述させます。 アドミッション・ポリシーを理解し自己PRができているか、志望理由が明確で学習計画は的確に立てられているか、将来の進路希望は明確か等を判断基準として、「学力」、「行動力」、「意欲」を評価します。

教 育 学 部

1) 教育学部が求める学生像

教育学部では、子どもの発育発達や能力に応じた主体的な学びを支援することのできる、学校現場で活躍できる専門力と実践力を兼ね備えた教員を養成することを目的としています。この観点から「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 将来、教員になるための素養と、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として、または多様な人々と協働して、地域社会における教育に参画していこうとする行動力
- 教育者を目指して知的・人格的に成長していこうとする意欲

また、教育学部の各課程・専攻は、それぞれ次のような学生を求めます。

【学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻】

- 小・中学校等の教員として必要な専門力・実践力を身に付けるために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 将来、小・中学校等の教員として、学校教育に貢献したいという強い意志と、明確な目標を持っている人

【学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻】

- 障害等の特別な教育的ニーズを教育、心理、病理などの多方面から理解し支援するために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 将来、特別支援学校等の教員として、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の自立に向けた活動に関わることを強く希望する人

【養護教諭養成課程】

- 養護教諭として必要な専門力・実践力を身に付けるために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 子どもの健康に高い関心を持ち、将来、養護教諭として学校教育に貢献するという強い意志を持つ人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 高等学校で履修する教科・科目の基礎的理解だけでなく、取得する教員免許に則した深い学び、課題の把握とその解決に向けたプロセスをわかりやすく表現や説明できる力を習得しておくことが必要です。
- 将来、教員として同僚や児童・生徒、保護者とのコミュニケーションを円滑に育めるように、課外活動やボランティア活動など、多様な人々と積極的に関わっていく主体的な経験が望まれます。
- 日頃から社会情勢や教育問題に対して関心を持ち、困難な問題にも安易にあきらめることなく乗り越えるための努力を惜しまない姿勢と、自己を高める継続的な向上心を身に付けておくことが必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

教育学部では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学 力	行 動 力	意 欲
一 般 選 抜 (前期)	小学校コース，中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修を除く），特別支援教育専攻，養護教諭養成課程		○		
	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価すると共に， 教員としての適性・資質・能力，教員になろうとする意 欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から， 左記の方法により総合評価して選抜します。			
	教科・科目に係る 個別テスト				
	個人面接				
一 般 選 抜 (後期)	小学校コース		○		
	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価すると共に， 教員としての適性・資質・能力，教員になろうとする意 欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から， 左記の方法により総合評価して選抜します。			
	個人面接				
総合型選抜Ⅰ	中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修）		○		○
	個人面接	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで， 本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めるの に必要な，音楽・美術・保健体育の教員としての基礎的 な学力（技能及び知識）と資質・適性，教員になろうと する意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観 点から，左記の方法により総合評価して選抜します。			
	実技試験				
総合型選抜Ⅱ	小学校コース，特別支援教育専攻，養護教諭養成課程			○	○
	共通テスト	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで， 本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めるの に必要な，教員としての適性・資質・能力，教員になろ うとする意欲と教育に対する興味・関心を評価すると共 に，高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するとい う観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。			
	個人面接				
	集団討論				
	志望理由書				

注）一般選抜（前期・後期）及び総合型選抜Ⅱの個人面接では，調査書を参考資料とします。

注）総合型選抜Ⅰの音楽専修及び美術専修の個人面接では，調査書及び志望理由書を参考資料とします。

注）総合型選抜Ⅰの保健体育専修の個人面接では，調査書，志望理由書及び運動歴調査書を参考資料とします。

なお，運動歴調査書は実技の得点に含めます。

【別表2】選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
個 人 面 接	一般・前期	質疑応答等を通して、①自己表現能力、②教職への目的意識、③教員としての適性・資質・能力、④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価します。 総合Ⅰの美術専修及び保健体育専修においては、それぞれ美術と保健体育に関する知識を問う口頭試問も行い、「学力」も評価します。
	一般・後期	
	総合Ⅰ	
	総合Ⅱ	
集 団 討 論	総合Ⅱ	【小学校コース、特別支援教育専攻、養護教諭養成課程】 与えられたテーマについてグループで討論を行います。 討論を通して、①話し方・聞き方等のコミュニケーション能力、②発言内容、③教員としての適性等を把握し「学力」「行動力」「意欲」を評価します。
実 技 試 験	総合Ⅰ	【中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修）】 事前に提示した課題または基礎運動能力テストについて実技試験を行います。 基本的な能力・技術等を把握し、音楽・美術・保健体育の教員として必要な「学力」（技能・運動能力）を評価します。 音楽専修においては、演奏楽曲に関する知識等に関する口頭試問も含みます。 保健体育専修においては、運動歴調査書により得意とするスポーツ競技の成績や、活動状況等の運動歴を通して、保健体育教員として必要な資質・適性である「学力」（専門的なスポーツ能力）を評価して、実技の得点に含めます。
志望理由書	総合Ⅱ	【小学校コース、特別支援教育専攻、養護教諭養成課程】 志望理由や活動実績等の内容から、①自己表現能力、②教職への目的意識、③教員としての適性・資質・能力、④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し、主に「意欲」を評価します。

医学部医学科

1) 医学部医学科が求める学生像

医学部医学科では、豊かな人間性と高度の医学知識に富み、広い視野と柔軟な思考力をもって社会的役割を的確に果たすことができる医師及び医学研究者の養成を目的としています。

そのような人材の養成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 医学教育を受けるに十分な素養で、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 他人を思いやるやさしさと社会性を持ちながら、高度で先端的な医療を地域社会と連携しながら実践してゆく行動力
- 生涯にわたり医師として医療・医学に貢献したいという明確な目的を持ち、何事にも前向きに取り組む、知的・人格的に成長していこうとする意欲

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 医学を修めるために、理系科目だけでなく、英語や文系科目もしっかりと履修し、応用力を伴った総合的学力を身に付けておく必要があります。
- 将来、様々な医療職と連携し、多様なニーズに対応できる医療を実践するためには、コミュニケーション能力と協調性を身に付けておく必要があります。
- 医学・医療を取り巻く社会問題や地域の動向に関心を持ち、自ら積極的に学ぶ姿勢を身に付けておく必要があります。

3) 入学者選抜の基本方針

医学部医学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し、様々な課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
	個人面接				
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	本学科のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価する観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。		○	○
	個人面接				
	総合論述				
学士編入学 (第2年次)	個人面接	修業年限4年以上の大学卒業レベルの学習の達成度及び様々な課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○	○	
	TOEFL				
	教科・科目に係る個別テスト (基礎自然科学・数学)				

注) 一般選抜(前期)及び総合型選抜Ⅱの個人面接では、調査書及び志望理由書を参考資料とします。

注) 学士編入学(第2年次)の面接では、志望理由書を参考資料とします。

【別表2】選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
個人面接	一般・前期	事前に提出される「志望理由書」を資料に用いて、志望理由、医療に対する関心、卒業後の進路等について、質疑応答を行うことにより、「行動力」、「意欲」を評価します。
	総合Ⅱ	
	学士編入学	
総合論述	総合Ⅱ	与えられた資料の内容を的確に捉え、課題を見出し、自身の考えの思考過程及び最終的結論に関して論述させます。自身の考えを論理的に構築・表現する力が求められます。資料の理解・解析・分析を通じて、課題解決に必要な論理的思考力と問題発見能力の他、医学分野における資質を以下の観点に基づき総合的・多角的に評価します。 1. 資料理解力：資料の本質を捉え、的確に解析する能力。 2. 問題発見能力：与えられた情報や状況から課題を見出し、それを適切に定義する能力。 3. 論理的思考力：課題に対する考えを論理的に構成する能力。 4. 分析力：資料や課題の要点を整理し、深く考察する能力。 5. 表現力：明確かつ説得力のある形で自身の考えを示す能力。
TOEFL	学士編入学	英語について、修業年限4年以上の大学卒業レベルの「学力」を評価します。
教科・科目に係る個別テスト (基礎自然科学・数学)	学士編入学	物理・化学・生物・数学の筆記試験を通して、修業年限4年以上の大学卒業レベルの「学力」を評価します。

医学部保健学科

1) 医学部保健学科が求める学生像

医学部保健学科では、保健医療の高度な知識及び技術を習得し、豊かな人間性と問題解決能力を備え、創造性、独創性と国際的視野を有し、社会で活躍できる人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 保健医療専門職となるための学修に必要な基礎的学力
- 将来、他の医療職者と協調しながら保健医療活動を実践するための行動力
- 向上心と研究心を基に、保健医療の実践者として社会に貢献する強い意欲

また、医学部保健学科の各専攻は、それぞれ次のような学生を求めます。

【看護学専攻】

- 人間や生命、健康に関心を持ち、看護専門職者として知的・人格的に成長しようとする意欲のある人
- 人間の尊厳を重んじ、人や社会、文化の多様性を認め、人と良好な関係を築くことができる人

【放射線技術科学専攻】

- チーム医療の一員として積極的にコミュニケーションを図り、他の医療技術者と互いに協力し合い、より良い医療を提供するための行動力のある人
- 医療を安全に行う能力を有し、生涯にわたり向上心・探究心を持ち続け、知的・人格的に成長しようとする意欲のある人

【検査技術科学専攻】

- 医療従事者としての自覚とチーム医療遂行のための協調性を持ち、鋭い観察力と洞察力ならびに応用力を備えて保健医療の発展のために積極的に行動できる人
- 自然科学、保健医療、臨床検査に強い関心を持ち、検査職を通して人々の健康維持・増進に積極的に取り組む意欲のある人

【理学療法学専攻】

- 他者と適切な関係を築きながら、様々な人たちと協働して、障害者等が抱える問題の解決に取り組む行動力を有する人
- 理学療法士として向上心・研究心を持って保健医療に取り組み、障害者等のリハビリテーションに貢献したいという強い意欲のある人

【作業療法学専攻】

- 作業療法の対象者の個別の価値観や生活を尊重し、対象者の希望に沿った作業活動を考えつつ実践するための行動力のある人
- チーム医療の一員として、他職種を尊重しながら、作業療法を積極的に実行する意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 医療従事者は、高度な知識や技術が求められますので、高等学校においては履修するすべての教科についての幅広い知識が必要とされます。
- チーム医療の一員として医療に関わることも多いため、課外活動やボランティア活動も含めて積極的な取り組みを行う行動力を持っていることが望まれます。
- 研究心や探求心などに基づき、様々なことに関わる意欲や他者への思いやりを持つことが必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

医学部保健学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するとともに、医療従事者としての資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
	小論文（該当する専攻のみ）				
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	本学科のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための基礎的学力、資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、左記の方法により総合評価して選抜します。	○	○	○
	小論文				
	個人面接				
	調査書				
	志望理由書				

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
小論文	一般・前期	日本の保健医療が現代社会で直面している課題等をテーマに自身の考えを記述させます。 日本語の文章力、論理的な表現力の観点から「学力」を評価します。また、様々な課題を多面的に把握し解決するための資質・能力の観点から「意欲」、「行動力」も評価します。
	総合Ⅱ	日本の保健医療が現代社会で直面している課題等をテーマに自身の考えを記述させます。 日本語の文章力、論理的な表現力の観点から「学力」を評価します。
個人面接	総合Ⅱ	自己PR、志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路、高等学校での学習や課外活動等について質疑応答を行います。 志望理由、専門分野に関する興味関心についての質疑応答の内容から「意欲」、課外活動・ボランティア活動についての質疑応答の内容から「行動力」を評価します。
調査書	総合Ⅱ	高等学校での科目の履修状況、教科外活動の状況、ボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得などにより、主に「行動力」を評価します。
志望理由書	総合Ⅱ	志望理由、入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について、これまでの勉強や様々な活動を通して得た経験を基に自分の考えを記入させます。 本学科に対する理解や、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「意欲」を評価します。

医学部心理支援科学科

1) 医学部心理支援科学科が求める学生像

医学部心理支援科学科では、科学的思考力を有し、こころの問題を感受し、その問題を解決できる能力や生命に対する高い倫理性と豊かな人間性を有し、悩める人に寄り添い、心理支援職としての役割を通して地域住民の健康と福祉に寄与し、社会に貢献する地域のリーダーとなる人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 心理支援職としての知識と技術を修得するのに必要な基礎学力
- 他職種と連携しチームの一員として心理支援活動を実践するための行動力
- 社会問題や地域の動向に関心を持ち、心理支援職として社会に貢献する強い意欲

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 心理支援職は、高度な知識や技術が求められますので、高等学校においては履修するすべての教科についての幅広い知識が必要とされます。
- 他職種と連携しチームの一員として心理支援業務に関わることも多いため、課外活動やボランティア活動も含めて積極的な取り組みを行う行動力を持っていることが望まれます。
- 幅広い研究心や探求心などに基づき、社会問題や地域の動向に関心を持ち、自ら積極的に関わる意欲や他者への思いやりを持つことが必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

医学部心理支援科学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、知識・理解力・思考力・判断力・表現力について、共通テストと教科・科目に係る個別テストにより評価します。また、「意欲」、「行動力」については、志望理由書により評価します。これらの結果を総合評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
	志望理由書				

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
志望理由書	一般・前期	志望理由，入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について，これまでの勉強や様々な活動を通して得た経験を基に自分の考えを記入させます。 本学科に対する理解や，専門分野に対する強い興味・関心，主体的に学び続けようとする積極性などにより，「行動力」及び「意欲」を評価します。

理 工 学 部

1) 理工学部が求める学生像

理工学部では、変化する現代社会に対応できる幅広い視野と科学・技術の発展に貢献できる力を養うカリキュラムを提供することによって、自然の仕組みを探究する力、先端技術社会を支える科学を発展させ技術を創造する力、変化する現代社会が直面する課題を発見・分析・解決する力を養い、地域や国際社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- ・専門教育の基礎となる理数系の学力、及び社会の中で専門的能力を活かすための基礎学力
- ・高等学校までに学習すべき課題に真摯に取り組むとともに、自らの個性や資質に合わせてその他の活動にも積極的に参加し、自らを成長させていく行動力
- ・専門を生かして新たな課題を見いだし、解決するために学び続ける意欲

また、理工学部の各学科は、それぞれ次のような学生を求めます。

【数物科学科】

（数数学型）

- ・数理科学への強い興味を持ち、数理科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- ・探究心が旺盛で豊かな数学的知識と自在な数理的応用力をもって社会に貢献する意欲のある人

（物理型）

- ・自然の基本原則に興味を持ち、物理学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- ・物質を構成しその性質を決定している量子の世界から広大な宇宙の世界までを支配している自然の基本原則を理解し、より深く探求することやその成果を社会へ還元することに意欲のある人

【物質創成化学科】

- ・化学物質の構造や化学反応の仕組みを物質の機能と結びつけて探求することに興味を持ち、化学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- ・自ら課題を見いだし、暮らしを豊かにする機能性物質や環境調和を指向した機能性材料を創成し、リサイクル、省資源、エネルギー創成技術等に関する諸課題を解決するための研究開発に意欲のある人

【地球環境防災学科】

- ・宇宙空間、大気・水圏、地質・岩石、地震・火山等を対象とした地球科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲を持つ人
- ・自ら課題を見いだし、地球に関する科学の深化や、地球環境問題の解決、自然災害の防止に貢献することに意欲のある人

【電子情報工学科】

- ・電子回路、電子材料、コンピュータとソフトウェア、通信ネットワーク、セキュリティ、組込みシステムなどの電子情報工学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- ・電子情報工学の発展に強い関心を持ち、学んだことの成果を社会の様々な分野で活用することに意欲のある人

【機械科学科】

- 医用・福祉，環境・エネルギー，航空宇宙，輸送機械，ロボット，AI，ナノテクノロジーなどの機械科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- ものづくりに関する科学技術の発展に強い関心を持ち，失敗を恐れず継続してものごとに取り組む，学んだことの成果を社会の様々な領域で活用することに意欲のある人

【自然エネルギー学科】

- 自然や人間社会に深い興味を持ち，自然エネルギーに関する多様な分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
- 地域に存在する自然エネルギー源を利用することや，その活用に意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 理工学分野の学問を学ぶために必要な力として，論理的思考力，自然科学に関する基礎知識，表現やコミュニケーションの能力を身に付けておくことが必要です。
- 自ら課題を探究し，主体的に取り組む学習態度，新しい発見や創造的な活動に取り組むための行動力が必要です。また，他者と協働して学習や研究などに取り組むことができる行動力や学習態度が必要です。
- 困難な課題に対しても安易にあきらめることなく取り組み，やり遂げようとする意欲を持ち続けることが必要です。また，自然界の仕組みや社会を支える技術について日頃から興味を持ち，学習に自発的に取り組む態度が必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

理工学部では，前記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的な評価方法により，別表のとおり入学者を選考します。

【別表1】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
一般選抜 (後期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
総合型選抜Ⅰ	講義の実施とその内容に関するレポート	本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合評価して選抜します。	○	○	○
	個人面接				
編入学入試 (第3年次) 推薦	個人面接	本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合評価して選抜します。 なお、個人面接においては、基礎学力に関する試問を含みません。	○	○	○
	調査書				
	志望理由書				
	推薦書				
編入学入試 (第3年次) 一般	個人面接	本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合評価して選抜します。	○	○	○
	調査書又は成績証明書				
	志望理由書				

注) 総合型選抜Ⅰの個人面接では、調査書及び志望理由書を参考資料とします。

【別表2】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
講義の実施とその内容に関するレポート	総合Ⅰ	学部において実施する講義に、能動的に対応するために必要な「学力」及び「行動力」を評価します。
個人面接	総合Ⅰ	志望動機、入学後の履修計画、卒業後の見通しなどに関する総合的な質疑により、「意欲」及び「行動力」を評価します。 また、総合型選抜Ⅰ及び編入学入試一般では、基礎学力に関する試問において、学部のカリキュラムに基づく学習を進めるために必要な「学力」を評価します。 なお、編入学入試推薦においては、基礎学力に関する試問を含みません。
	編入学	
調査書又は成績証明書	編入学	これまでの学習に対する取組状況から、「行動力」の評価を行います。また、3年次以降の履修に対応する「学力」についても評価します。
志望理由書	編入学	志望理由と理工学部のアドミッション・ポリシーとの整合性から、「意欲」に関する評価を行います。
推薦書	編入学	これまでの学習に対する取組や学習意欲に関する客観評価から、「意欲」及び「行動力」の評価を行います。

農学生命科学部

1) 農学生命科学部が求める学生像

農学生命科学部では、農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身につけ、課題探求・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍でき、創造性と主体性をもって地域はもとより国際的にも活躍できる人材を育成することを目的としています。この目的のため、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 入学後に修める教養教育や、農学及び生命科学の各分野の専門教育に必要な基礎学力（高等学校の教科全般、特に理科、英語、数学）
- 農学及び生命科学を通して国際社会や地域社会に参画しようとする行動力
- 農学と生命科学に興味を持ち、これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲

また、農学生命科学部の各学科は、それぞれ次のような学生を求めます。

【生物学科】

- 生物学の遺伝子レベルから生態系レベルにわたる様々な基礎的知識や応用的知識を、実社会への参画をみすえ、積極的に身に付けようとする行動力を持つ人
- 生物学に強い興味を持ち、動植物の生命現象の解析を通じて、生物の基礎的現象の仕組みや生物が持つ多様性、適応戦略、進化のメカニズムの解明に意欲のある人

【分子生命科学科】

- 分子レベルでの生命現象の理解や知識を活用した産業（例えば、医薬品、食品、化学工業など）及び学問分野で活躍しようとする行動力を持つ人
- 生命現象の仕組みや機能に興味を持ち、高校で学習した生物や化学の知識を基に分子レベルでこれを理解し、さらに追求する意欲のある人

【食料資源学科】

- バイオテクノロジー、食品科学、作物生産環境について目的意識を持って学ぶことができ、これらの研究を積極的に行うことができる行動力を持つ人
- 学びの中から様々な課題を自ら見だし、解決する力を養い、学修後にそれを食料生産や食品産業に役立てようとする意欲のある人

【国際園芸農学科】

- 地域農業の活性化や国際的な展開に取り組む行動力を持つ人
- 農業生産の技術とその原理を学ぶことに意欲のある人
- 食と農の経済を学ぶことに意欲のある人

【地域環境工学科】

- 自立した農業土木技術者として、社会的責任を自覚し、自主的継続的に学修し、多様な人々と協働し、国内外の地域社会に参画していこうとする行動力を持つ人
- 数学や物理学などの自然科学に関する工学基礎知識を身に付け、水・土・農業土木関連施設や農村・山間地に関わる総合的な工学知識を習得した農業土木技術者を目指し、国内外の地域社会の問題解決や発展に貢献しようとする意欲のある人

2) 入学志願者に求める学習の取組

- 農学及び生命科学の各分野の教育を受けるために必要な基礎学力だけではなく、論理的思考力、読解力、記述能力などの修得が必要です。
- 自分自身の考えを持ち、様々な課題に立ち向かい、解決する行動力を身に付けておく必要があります。
- 実験室のみならずフィールドでの学習・研究活動を自主的かつ積極的に取り組む意欲が必要です。

3) 入学者選抜の基本方針

農学生命科学部では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

【別表 1】 入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
一般選抜 (後期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○		
	教科・科目に係る個別テスト				
総合型選抜Ⅰ	小論文	本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○	○	○
	個人面接				
編入学入試 (第3年次)	個人面接	本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○	○	○
	編入学願				
	成績証明書				

注) 総合型選抜Ⅰの個人面接では、調査書及び志望理由書を参考資料とします。

【別表 2】 入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
小論文	総合Ⅰ	農学や生命科学などに関連するいくつかのテーマについて論述させます。論理的思考力、読解力、記述能力などにより、「学力」を評価します。
個人面接	総合Ⅰ	志望理由、興味・関心がある研究分野、入学前の学習などへの取組状況、将来への展望などに関する総合的な質疑により、「行動力」及び「意欲」の評価を行います。総合型選抜Ⅰでは、調査書と志望理由書をこれらの評価の参考資料として用います。
	編入学	また、総合型選抜Ⅰでは、基礎学力に関する試問において、学部のカリキュラムに基づく学習を進めるために必要な「学力」を評価します。 なお、編入学入試では、試問により、3年次以降の履修に対応するために必要な「学力」を評価します。
編入学願	編入学	本学部に対する理解、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などから、「行動力」及び「意欲」を評価します。
成績証明書	編入学	教養科目や専門科目の成績により、3年次以降の履修に対応する「学力」を評価します。

問合せ先一覧

■弘前大学の問合せ先

内 容	担当部署	連 絡 先
入学試験全般に関すること	学務部入試課	0172-39-3122 (FAX) 0172-39-3125
検定料の支払い及び返還に関すること		
入学手続に関すること		
入学料、授業料の免除等に関すること	学務部学生課	0172-39-3117
奨学金に関すること		
学生寮に関すること		0172-39-3107
授業料の口座振替に関すること	財務部財務管理課	0172-39-3043
カリキュラム、資格取得等に関すること 注) 右欄の学部の入学試験に関することは、 学務部入試課へお問い合わせください。	人文社会科学部	0172-39-3940
	教育学部	0172-39-3939
	理工学部	0172-39-3930
	農学生命科学部	0172-39-3752
入学試験に関すること カリキュラム、資格取得等に関すること	医学部医学科	0172-39-5204 0172-39-5236 (入試)
	医学部保健学科	0172-39-5911

※平日8:30～17:00（年末年始を除く。）

※電話による問合せは、やむを得ない場合を除き、志願者本人が行ってください。

■弘前大学インターネット出願サイトに関する問合せ先

「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター (運用会社：株式会社キャリアス)	0120-202079
---	-------------

■弘前大学生生活協同組合の問合せ先

試験時の宿泊やチケット予約 アパート紹介等、大学生生活準備に関すること	 弘前大学生生活協同組合 受験生・新入生サポートサイト https://newlife.u-coop.or.jp/hirosaki/
--	--



弘前大学公式ホームページ
<https://www.hirosaki-u.ac.jp/>



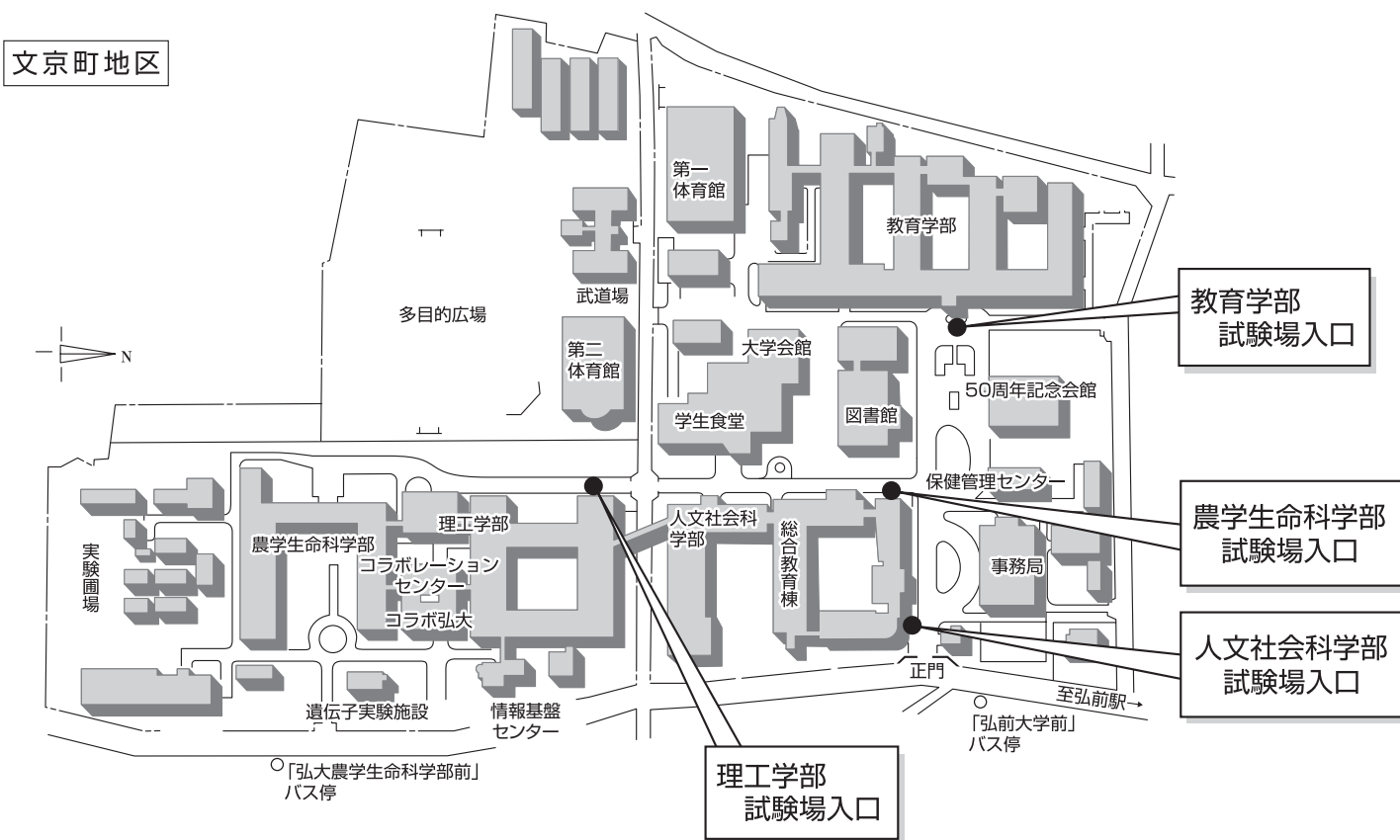
弘前大学入試情報ホームページ
<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>



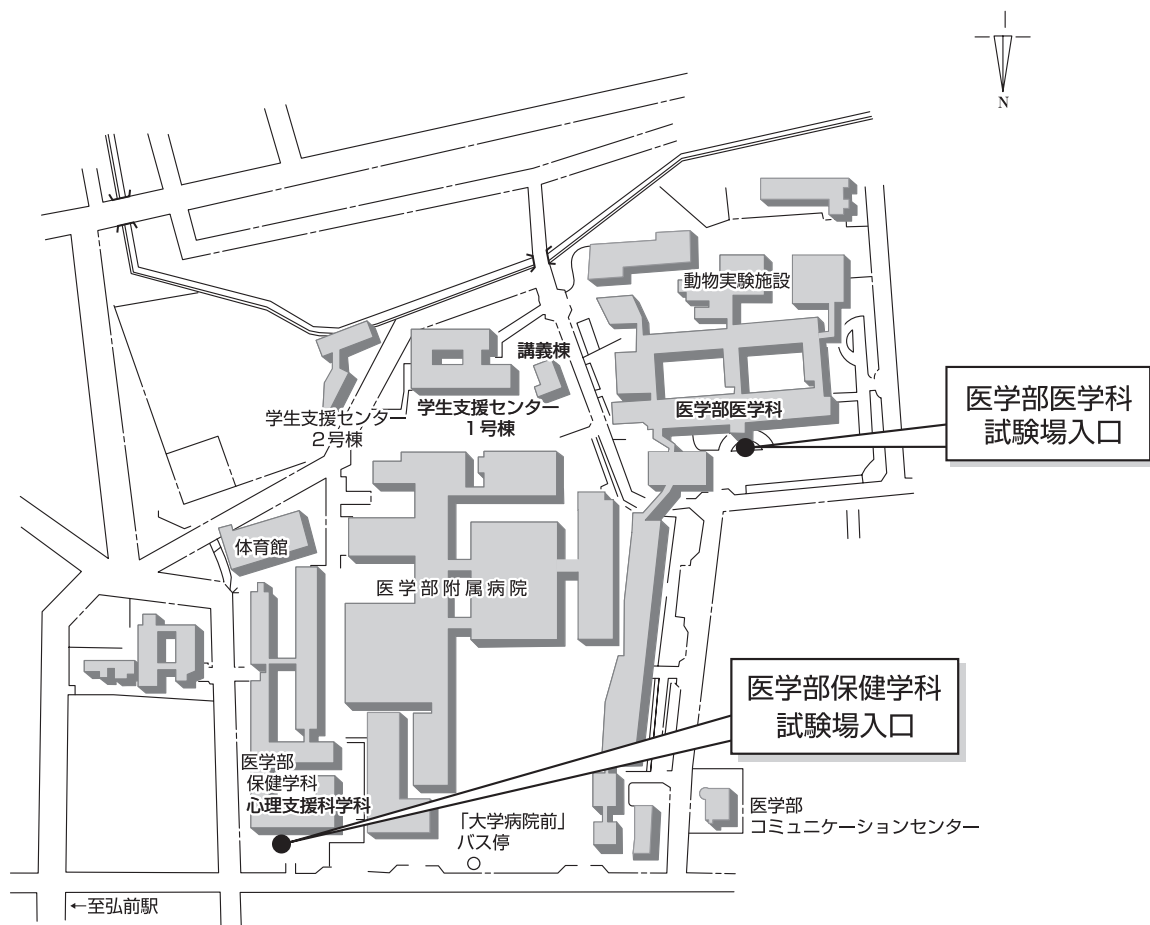
特設サイト（合格者発表，出願状況，試験当日の連絡）
<https://sp-nyushi.hirosaki-u.ac.jp/>

弘前大学キャンパス略図

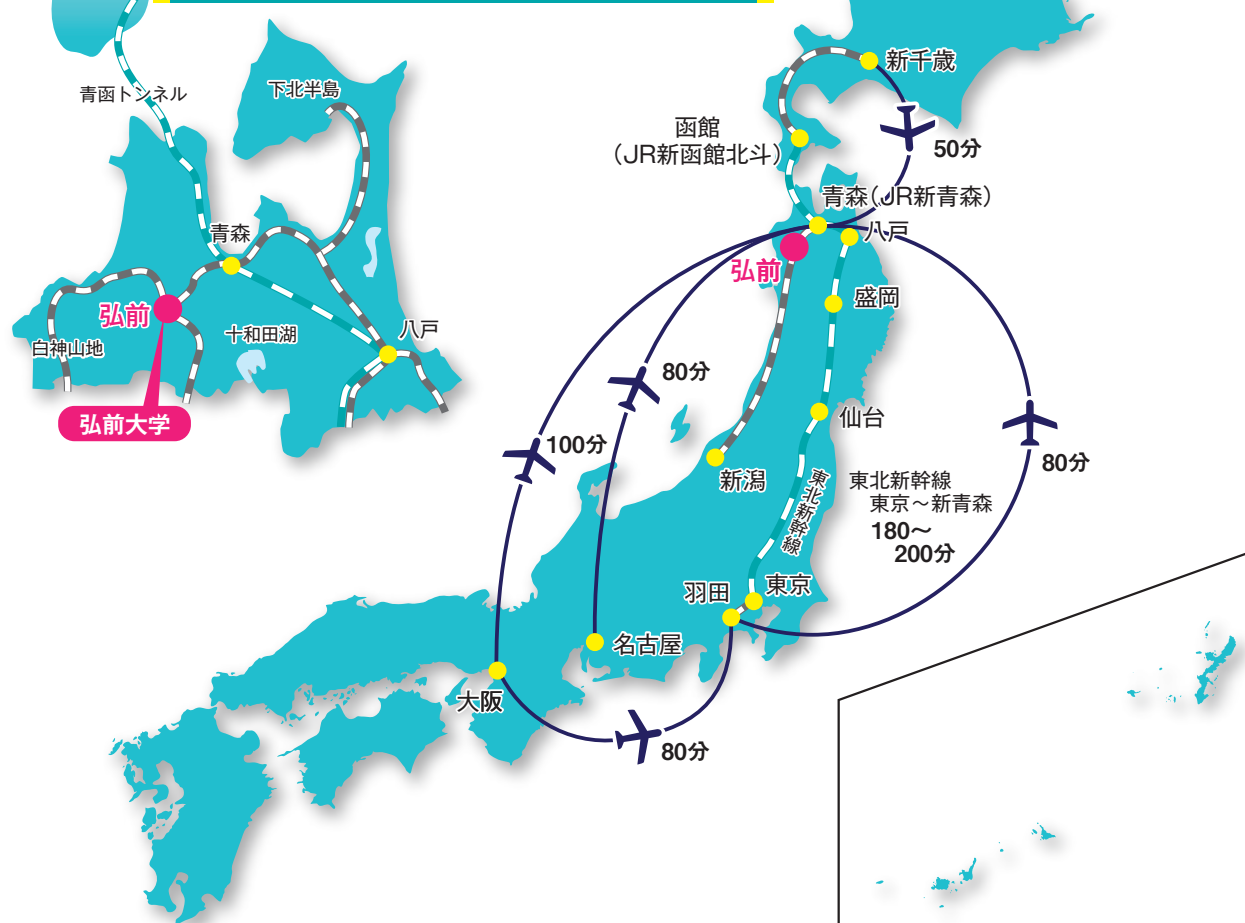
文京町地区



本町地区



Hirosaki Univ. Access Map



弘前までの交通案内

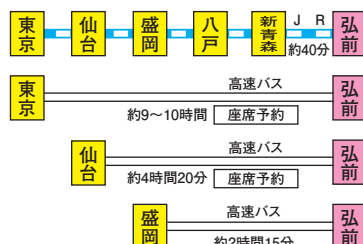
札幌・函館から



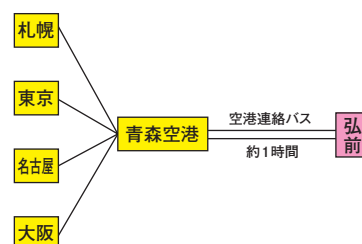
新潟・秋田から



東京・仙台・盛岡・八戸から



空路



HIROSAKI
UNIVERSITY

ロゴマークのコンセプト

弘前市が全国に誇れる「桜」をモチーフにし、5学部の桜の花が集結し、未来に向けひとつ大きな花を開花させるというイメージを図案化。中央にある丸は地球をイメージしており、弘前大学の卒業生がビジネス&研究において優秀な人材として貢献し、世界を飛びまわるといった工夫を加えた表現にもなっています。また、それぞれのカラーは、5学部のカラーを表現しており、(赤)医学部、(橙)教育学部、(緑)農学生命科学部、(紺)理工学部、(紫)人文社会科学部としています。さらに、地球の周りに桜をちりばめているようなイメージは、人工衛星的なイメージにも見え「地域発信の拠点となる弘前大学」という意味もあります。全体の色味としても現代風のカラフルな色彩にしておき、フレッシュ感と躍動感、そして楽しいキャンパスライフという活気に満ちあふれたマークに仕上がっています。